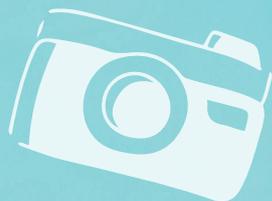
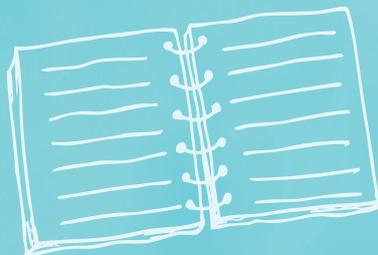




# 津田塾生のための 留学ハンドブック

2022

Study Abroad Handbook  
Tsuda University



# 新しい国際交流のかたち

国際センター長 英語英文学科 教授 菅 靖子

本学は小規模な女子大ですが、7歳でアメリカの地を踏んだ津田梅子のパイオニア精神が息づいているのでしょう、毎年、研究やフィールドワーク、ボランティアなど海外へ出て活動する学生がとても多いです。昨年度は長引くコロナ禍のなかで、かなり大幅に国際活動が制限されてしまいましたが、一方で、新しいかたちとしてオンライン留学も始まりました。また、海外の状況は相変わらず厳しいですが、2021年夏～秋にかけてと限定的にはなりますが、一部の学生の渡航が再開となりました。少し足踏みする時期があったからこそ、皆さんはこれから力強く世界へ踏み出されるものと思います。

ウィズコロナ時代の留学は、これまで以上に安全面が大切です。国際センターは、皆さんひとりひとりが、世界情勢に合わせて、個々の状況や希望に沿った国際体験を重ねていくための手助けをしています。アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニアと世界中にある協定校のネットワークを使つての長期留学、英語力を磨きながらその国について深く学ぶことができる夏期や春期の短期語学研修、自ら社会的な問題意識をもって行動する海外ボランティア活動への支援、将来の夢を世界へと広げるインターンシップへの支援……いかなる状況でも、国際交流はかたちをかえながら続いていきます。これからの様々な可能性について、ぜひ国際センターに相談にいらしてください。



# 目次

<b>I 留学のすすめ</b> .....	4
<b>II 本学の留学制度</b> .....	5
<b>II-1 協定校留学</b>	
1. 協定校一覧 .....	8
2. 協定校留学スケジュール .....	9～10
3. 学内選考 .....	11
4. 協定校紹介 .....	12
ブリンマー大学.....	12
インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス.....	12
ミネソタ州立大学モアヘッド.....	13
ランドルフ大学.....	13
サラ・ローレンス大学.....	14
スペルマン大学.....	14
カリフォルニア大学デービス校.....	15
カンザス大学.....	15
ウエスタン・ワシントン大学.....	16
マギル大学.....	16
アベリストウィス大学.....	17
ブリストル大学.....	17
エディンバラ大学.....	18
ヨーク大学.....	18
リーズ大学.....	19
ブレーキング工科大学.....	19
ブレーメン応用科学大学.....	20
ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ.....	20
CYセルジー・パリ大学 .....	21
オーストラリア国立大学.....	21
ディーキン大学.....	22
フィリピン大学.....	22
ハノイ国家大学外国語大学.....	23
梨花女子大学.....	23
国民大学.....	24
南京大学海外教育学院.....	24
香港樹仁大学.....	25
淡江大学.....	25
メトロポリタン自治大学.....	26
コルゲート Language Intern .....	27
留学体験記 1 協定校留学 (韓国 梨花女子大学) .....	28
<b>II-2 語学研修プログラム</b> .....	29
<b>III 留学のための情報収集</b>	
1. 留学全般 .....	30
2. 各国の留学情報 .....	31
3. 各種英語試験 .....	31
4. その他語学能力試験 .....	33

5. 学内での語学力向上ツール .....	34
<b>IV 留学に関する学籍と手続き</b>	
1. 「留学」と「休学」の違い .....	35
2. 「留学」「休学」の手続き .....	38
3. 科目継続 .....	44
4. 履修登録延期 .....	45
5. 単位認定 .....	45
6. セミナー登録 .....	46
7. 帰国後の手続き .....	49
8. 4年間で卒業する条件 .....	50
9. 教職課程履修と留学について (学芸学部) .....	52
留学体験記 2 協定校留学 (中国 南京大学海外教育学院) .....	53
<b>V 留学のための奨学金</b>	
1. 津田塾大学の奨学金 .....	54
2. 学外の奨学金 .....	56
<b>VI 留学と就職</b>	
1. 留学前の就職活動準備 .....	57
2. 留学中の情報収集 .....	58
3. 帰国後の活動 .....	59
4. 進路決定までのスケジュール .....	61
5. 4年間で卒業を目指す場合 .....	61
<b>VII 渡航準備</b>	
1. パスポートとビザの申請 .....	62
2. 海外旅行保険 .....	62
3. 健康面について .....	63
4. その他 .....	64
<b>VIII 危機管理</b>	
1. 津田塾大学 海外渡航基準 .....	65
2. 留学中の安全対策 .....	65
3. 緊急連絡体制 .....	67
<b>IX 学外学修について</b> .....	69
<b>X 留学Q&amp;A</b>	
1. 留学準備 .....	71
2. 協定校留学制度 .....	71
3. アメリカ留学 .....	72
4. 英国留学 .....	73
5. 費用・奨学金 .....	74
6. 手続き .....	74
7. 就職 .....	76
<b>XI 留学データ</b> .....	77

# I 留学のすすめ

日本初の女子留学生である津田梅子先生が1900年に女子英学塾を創立して以来、津田塾大学には学びや活動の機会を海外へ求める学生が多い校風があります。グローバル化が進む現代社会で学生時代を過ごす皆さんにはぜひ、在学中に海外留学を経験し、異文化の中で様々な発見をしてもらいたいものです。

本学には協定校留学制度があり、2022年3月現在、13ヵ国・地域、29の大学で学ぶ機会があります。協定校留学には定員があり、語学力と成績の基準をクリアし、選考試験を受ける必要があります。協定校留学に参加できない場合、あるいは希望する専攻が協定校では学べない場合には「私費留学」の方法があります。私費留学は一般的に経費がかかりますので、奨学金制度も事前に調べておくといよいでしょう。

海外留学を想像すると、楽しいことばかりが頭に浮かびますが、長期にわたって海外で勉強するためには強い精神力が必要です。留学の準備を始める前にまず、以下の4点について考えてみてください。

- ◇ 明確な目標
- ◇ 語学力
- ◇ 学力
- ◇ 経済力

留学に対する明確な目標設定は、充実した留学生活を送る上で非常に重要な要素となります。卒業後の進路を踏まえながら、留学して何を学ぶのか、何をしたいのか、なぜ留学が必要なのか、本当に海外に行きたいのか、困難なことがあっても耐え抜くことができるのか、熟考してみましょう。

海外の大学で学ぶためには当然、その国で使われている言語の十分な運用能力が必要です。出願の段階で求められる語学要求点を早めに取得できるよう準備をしてください。

また、語学力だけではなく、大学の授業についていけるだけの学力が必要です。GPAの基準を設けている大学もあります。語学の準備もさることながら、日々の学習を怠ることなく、少なくとも平均以上の成績を修めるよう努力してください。

そして、長期間海外で暮らすということは、経費もかかります。特に欧米諸国は授業料が高い国が多く、物価も東京より高いところもあります。事前にご家族と相談し、奨学金の必要な場合は早めに海外留学のための奨学金制度を調べてください。大きな奨学金ほど締切が早いので注意が必要です。留学先でのアルバイトは国によってはできない場合があります。

留学の準備には長い時間がかかります。P.6及びP.9～10に記載のスケジュールを参考にして早めに第一歩を踏み出してください。

## II 本学の留学制度

### 長期留学（1 学期以上）

津田塾大学には、長期（1 学期以上）留学する制度として以下のものがあります。

1. 協定校留学 本学が協定を結んでいる海外の大学に、1 年間または半年間留学をする制度です。詳しくは、II-1 協定校留学を参照してください。
2. 私費留学
  - ①協定校以外の大学に、「留学」の学籍で留学する制度です。
  - ②海外の語学学校への留学や、P.35 の表にある「留学先大学の条件」を満たさない留学の場合は、「休学」の学籍での留学となります。
 ※詳しくは、IV 留学に関する学籍と手続きをご参照ください。

その他大学を通ず長期プログラムとして、以下のものがあります。

### コルゲート大学 Language Intern

コルゲート大学（アメリカ合衆国、ニューヨーク州、ハミルトン <http://www.colgate.edu/>）での Language Intern プログラムです。日本語担当教授、日本語インストラクターのアシスタントとして、おおよそ週 20 時間、10 か月間勤務します。プログラムの詳細や応募要件については、本冊子の p.27、および国際センターから出される募集要項をご覧ください。

### 短期海外研修（第 2 ターム・夏期休暇・春期休暇中）

以下のとおり、第 2 ターム・夏期休暇・春期休暇中、国際センター主催の語学研修、および協定校や協定に基づいて行われているその他短期海外研修があります。

※先方の都合等により開講されない場合があります。

種類	プログラム名	留学先国	時期
国際センター主催 語学研修	キングストンプログラム	英国	第 2 ターム + 夏期休暇
	ヨークプログラム	英国	
	マギルプログラム	カナダ	
	インディアナプログラム	米国	
	キングストンプログラム	英国	春期休暇
その他 短期海外研修	梨花女子大学サマープログラム	韓国	第 2 ターム + 夏期休暇
	Campus France 語学研修	フランス	夏期および春期休暇
	ハインリッヒハイネ大学デュッセルドルフ ドイツ語研修プログラム	ドイツ	夏期休暇
	淡江大学サマープログラム	台湾	第 2 ターム + 夏期休暇

その他、学外学修センター主催のサマースクール等があります。詳細は学外学修センターにお問い合わせください。国際センター主催語学研修については、本冊子 II-2 語学研修プログラム も参照してください。

## 留学準備の進め方

留学中の学籍・学内の手続き・資金などを確認しておく

	協定校留学の場合	私費留学の場合	留意点
1年～1年半前	プランニング		留学したい国、時期、期間、専攻分野、帰国後の進路など大まかなプランを立てる
	TOEFL、IELTS などを受験する		何度か受験して出願までに要求点をクリアする
	情報を集める		国際センターやインターネット、留学雑誌、留学説明会などを利用して情報収集する
9ヵ月～1年前	協定校留学募集要項を入手する	資料を入手する	協定校留学説明会に参加し、協定校留学にするか、私費留学にするか検討する
6～9ヵ月前	↓ 学内選考試験に出願する	↓	
	↓ 学内選考試験を受験する		
	不合格の場合 ----->	出願する大学を決定する	学内選考試験に不合格になってからでも私費留学は間に合う場合が多い
	合格の場合 ↓	↓	
4～6ヵ月前	派遣先大学へ出願する	出願する	出願書類は不備のないように
	↓ 入学許可証を受け取る		寮の申し込みを早めに
2～3ヵ月前	↓ ビザ申請と渡航準備		本学の留学手続きも忘れないように
	↓ 留学！		

## II-1 協定校留学

国際センターは、海外の大学・教育研究機関との学術・文化交流を促進し、協定校留学をはじめとする学生のさまざまな活動を積極的にサポートしています。

津田塾大学は2022年3月現在、13カ国・地域の29大学と学生交流に関する協定を結び、毎年約35名の学生を1年または半年間留学生として派遣しています。



**交換留学** 本学の学生を派遣し、同時に協定校からも留学生を受け入れる制度で、原則として留学先学費は相互免除となっています。協定校によっては寮費や食費が免除される場合もあります。(本学の学費は協定により自己負担額が異なります。)

**派遣留学** 本学の学生を派遣するのみで、協定校からの留学生受け入れはありません。留学先の学費、寮舎費および生活費等は基本的に自己負担ですが、本学の学費は在籍料相当額に減免となります。留学先大学では交換留学生と同じサービスが受けられます。学内選考が留学をする年の前年度に行われるため、時間をかけて留学準備ができることも利点です。

# 1 協定校一覧

2022年3月現在

国名	地図No.	協定校	留学人数	留学期間 (春出発)	留学期間 (秋出発)	対象学科/ 研究科
アメリカ	1	プリンマー大学	1名		8月～翌5月	*1
	2	インディアナ大学パデュー大学 インディアナポリス	3名		8月～翌5月 (半年留学も可)	*2
	3	ミネソタ州立大学モアヘッド	3名		8月～翌5月	*1
	4	ランドルフ大学	2名		8月～翌5月 (半年留学も可)	*1
	5	サラ・ローレンス大学	1名		8月～翌5月 (半年留学も可)	*1
	6	スペルマン大学	1名		8月～翌5月	*1
	7	カリフォルニア大学デービス校	3名	3月～12月 3月～翌3月	9月～翌6月	*2
	8	カンザス大学	3名		8月～翌5月	*1
	9	ウエスタン・ワシントン大学	2名	4月～翌3月	9月～翌6月	*1
カナダ	10	マギル大学	3名		8月～翌4月	*2
英国	11	アベリストウィス大学	3名		9月～翌6月	*1
	12	ブリストル大学	3名		9月～翌6月 (半年留学も可)	*1
	13	エディンバラ大学	3名		9月～翌5月	*1
	14	ヨーク大学	3名		9月～翌3月 9月～翌6月	*1
	15	リーズ大学	3名		6・7・9月～ 翌1・6月	*1
スウェーデン	16	ブレーキング工科大学	3名		8月～翌6月 (半年留学も可)	*3
ドイツ	17	ブレーメン応用科学大学	1名	4月～翌2月	10月～翌7月 (半年留学も可)	*4
	18	ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ	2名	4月～翌3月	10月～翌7月	*5
フランス	19	CY セルジー・パリ大学	2名		9月～翌6月 (半年留学も可)	*5
オーストラリア	20	オーストラリア国立大学	3名	2月～11月		*1
	21	ディーキン大学	3名		・語学研修付き： 2月～10月 ・直接入学： 2月～10月/ 2月～翌2月	・語学研修付き： 8月～翌6月 ・直接入学： 7月～翌6月
フィリピン	22	フィリピン大学	1名		8月～翌5月	*1
ベトナム	23	ハノイ国家大学外国語大学	2名		8月～翌6月	*2
韓国	24	梨花女子大学	2名	3月～12月	9月～翌6月	*1
	25	国民大学	2名	3月～12月	9月～翌6月	*2
中国	26	南京大学海外教育学院	3名	2月～12月	9月～翌6月	*1
	27	香港樹仁大学	2名		9月～翌5月	*2
台湾	28	淡江大学	2名	2月～翌1月	9月～翌6月	*2
メキシコ	29	メトロポリタン自治大学	2名		8月～翌6月	*1

## 【注意事項】

協定校または学部によって、要求される英語力や GPA は異なる。詳細については、当該年度の協定校別の募集要項を参照のこと。

## 【表内の符号についての説明】

- \* 1：2 学部全学科・全研究科
- \* 2：2 学部全学科
- \* 3：数学科・情報科学科、理学研究科
- \* 4：情報科学科、理学研究科（情報科学専攻）
- \* 5：学芸学部全学科・全研究科



## 3 学内選考

### (1) 出願資格

- ① 学部生は派遣年の前年度までに 30 単位以上の科目を修得していること
- ② 出願時に学部 2 年生以上で、出願時から留学期間終了時まで本学に在学中であること
- ③ 本学の学業成績が原則として総合 GPA 2.8 以上かつ志願先大学の GPA 条件を満たしていること
- ④ 志願先大学の要求する語学能力を有していること
- ⑤ 十分な資金の準備ができること
- ⑥ 異文化適応能力があり、心身の健康状態が良好であること

### (2) 出願書類

- ① 協定校留学願書
- ② セミナー指導教員による志願者評価書
- ③ 志願先大学が要求する語学スコアのコピー
- ④ 最新の成績通知書または最新の総合 GPA が表示された TsudaNet Web 履修成績 成績照会ページのコピー  
※大学院生は学部の成績通知書または成績証明書のコピーも提出すること  
※編入生は本学入学前に在籍していた大学等の成績通知書または成績証明書も提出すること

### (3) 学内選考試験

- 一次試験：語学能力試験  
二次試験：面接試験

一次試験の中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ドイツ語、フランス語は和訳・作文等の筆記試験。(過去問を国際センターで閲覧することができます。) 二次試験は、留学の目的やその大学を選んだ理由、学習計画や将来の希望などについて外国語と日本語で、個別またはグループ面接を行います。出願書類、本学での成績、一次試験ならびに二次試験の結果をもとに総合的に派遣生を選考します。

※ 学内選考試験の詳細は各期の募集要項で確認してください。

### (4) その他

- ① 留学期間を本学における修業年限に算入できる
- ② 留学先で修得した単位について学部生は 30 単位まで、大学院生は 10 単位まで本学の卒業・修了に必要な単位として認定を願い出ることができる

## 4 協定校紹介

※所要経費（年額）は、交換の場合は、本学学費・渡航費を除いた、寮舎費（寮自己負担の場合）、食費、教材費、保険費、諸雑費、等を含みます。派遣の場合は、交換の場合の費用に留学先の大学の授業料が加わります。

### ブリンマー大学 Bryn Mawr College

所在地	アメリカ、ペンシルベニア州ブリンマー	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：全額減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	約220万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が総合GPA3.0以上 ③ TOEFL iBT95またはIELTS 7.0以上 ④ 大学院生はGREのスコアを取得していること		
創立年	1885年	協定締結	1978年4月
学生数	学部生1,301人、大学院生341人（2020年）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	寮は11ある。9割以上の学生が寮生活を送っており、交換留学生は寮滞在が義務付けられている。		
URL	<a href="http://www.brynmawr.edu/">http://www.brynmawr.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.brynmawr.edu/academics/fields-study">https://www.brynmawr.edu/academics/fields-study</a>		

### インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス Indiana University-Purdue University Indianapolis (IUPUI)

所在地	アメリカ、インディアナ州インディアナポリス	留学期間	8月～翌年5月 (秋学期のみの留学も可能)
募集人数	3人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全学免除 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮またはホームステイ）
所要経費（年額）※	年間約150万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② TOEFL iBT 60またはIELTS 5.5以上 ※ TOEFL iBT 80またはIELTS 6.5以下の場合、IUPUIにおいて専門科目の履修に制限がある。		
注意	学期開始前にIUPUIにて英語能力試験を受験する。成績によってAcademic Englishの受講が義務付けられる。		
創立年	1969年	協定締結	2009年1月
学生数	学部生19,197人、 大学院生8,493人（2021年秋）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	学生寮、アパートメント等あり		
URL	<a href="https://www.iupui.edu/">https://www.iupui.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.iupui.edu/academics/schools.html">https://www.iupui.edu/academics/schools.html</a>		

## ミネソタ州立大学モアヘッド Minnesota State University Moorhead

所在地	アメリカ、ミネソタ州モアヘッド	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担(2021年度\$9,196.15) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約280万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 学部課程:TOEFL iBT 61 または IELTS 5.5 以上 大学院課程:TOEFL iBT 78 または IELTS 6.5 以上		
創立年	1887年	協定締結	2003年3月
学生数	学部生4,445人、 大学院生1,102人(2021年秋)	学期	セメスター制(秋学期:8月末～12月、春学期:1月～5月)
宿舎	本学学生には優先的に学内の寮が提供される。		
URL	<a href="https://www.mnstate.edu/">https://www.mnstate.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.mnstate.edu/academics/colleges-schools/">https://www.mnstate.edu/academics/colleges-schools/</a>		

## ランドルフ大学 Randolph College

所在地	アメリカ、バージニア州リンチバーグ	留学期間	8月～翌年5月 (秋学期のみの留学も可能)
募集人数	2人(交換留学生または派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程、博士課程)
学費の減免	留学先:交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担 (2022年度US\$27,270) ※奨学金US\$1,000あり 本学:全額減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり) 食費US\$11,430
所要経費(年額)*	交換留学:150万円 派遣留学:450万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上あるいは大学院修士課程または博士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 79 または IELTS 6.5 以上		
創立年	1891年	協定締結	1996年3月
学生数	学部生617人(2019年)	学期	セメスター制(秋学期:8月末～12月、春学期:1月～5月)
宿舎	大学構内には6つの寮があり、ほとんどの学生が寮生活を送っている。食事も、学内の食堂で3食とることになる。		
URL	<a href="http://www.randolphcollege.edu/">http://www.randolphcollege.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.randolphcollege.edu/academics/majors/#majors">https://www.randolphcollege.edu/academics/majors/#majors</a>		

## サラ・ローレンス大学 Sarah Lawrence College

所在地	アメリカ、ニューヨーク州ブロンクスビル／ ヨンカーズ	留学期間	8月～翌年5月 (秋学期のみの留学も可能)
募集人数	1人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円、半期 10万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約240万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年次以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで 在学中であること(ただし受講できるのは学部授業のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 90またはIELTS 6.5以上 ※ TOEFL iBT 100またはIELTS 7.0以下の場合、スカイプによるインタビュー審査あり		
その他	週に2、3時間、日本語アシスタントを務める		
創立年	1926年	協定締結	2011年5月
学生数	学部生1,377人、大学院生298人(2018年)	学期	セメスター制(秋学期：8月末～12 月、春学期：1月～5月)
宿舎	留学生には寮が優先的に提供される。		
URL	<a href="http://www.slc.edu/">http://www.slc.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.sarahlawrence.edu/undergraduate/areas-of-study/">https://www.sarahlawrence.edu/undergraduate/areas-of-study/</a>		

## スペルマン大学 Spelman College

所在地	アメリカ、ジョージア州アトランタ	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円、半期 10万円)に減免	寮舎費・食費	全額免除(寮あり)(長期休暇中の寮 舎費・食費は自己負担となる)
所要経費(年額)*	年間約80万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで 在学中であること(大学院は設置されていない) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 80またはIELTS 6.0以上		
創立年	1881年	協定締結	1996年6月
学生数	学部生2,100人、 大学院生298人(2021年)	学期	セメスター制(秋学期：8月～12 月、春学期：1月～5月)
宿舎	大学には11の寮があり、約1,200人の学生が生活している。本学学生も寮の一室が与えられる。		
URL	<a href="http://www.spelman.edu/">http://www.spelman.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.spelman.edu/academics/majors-minors-and-programs/majors">https://www.spelman.edu/academics/majors-minors-and-programs/majors</a>		

## カリフォルニア大学デービス校 University of California, Davis (UCD)

所在地	アメリカ、カリフォルニア州デービス	留学期間	3月～12月または3月～翌年3月 または9月～翌年6月
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先:協定によるGSP学費自己負担(2022年度:US\$23,050割引適用後) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費(年額)*	年間約435万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(学部生のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 80(各セクション19)またはIELTS 7.0以上 TOEFL iBT 71またはIELTS 6.5以上のスコアをもっている学生は、英語研修付きプログラム(1学期間または専門科目と並行して1～2コマ、Academic Englishを履修する)に参加することができる。		
注 意	UCDでGPA 2.0を維持すること		
創立年	1905年	協定締結	2009年7月
学生数	学部生30,982人、 大学院生8,647人(2019年)	学 期	クォーター制(秋学期:9月下旬～ 12月中旬、冬学期:1月上旬～3月 中旬、春学期:3月下旬～6月、 夏学期:6月～7月、8月～9月)
宿 舎	アパート、ホームステイ		
U R L	<a href="http://www.ucdavis.edu/">http://www.ucdavis.edu/</a>		
学 問 分 野	<a href="https://www.ucdavis.edu/majors/college">https://www.ucdavis.edu/majors/college</a>		

## カンザス大学 University of Kansas

所在地	アメリカ、カンザス州ローレンス	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1～3人(交換留学生または派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担 (2022年度:文系\$28,364) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	交換留学の場合: 全額免除(長期休暇中の寮舎費・ 食費は自己負担) 派遣留学の場合:自己負担
所要経費(年額)*	交換留学の場合:年間約80万円 派遣留学の場合:年間約450万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 学部課程:TOEFL iBT 71またはIELTS 6.0以上 ③ 大学院課程:TOEFL iBT Reading, Listening, Writingの各セクション18またはIELTS 5.5(各セクション5.0)以上		
注 意	学部課程 TOEFL iBT 79(各セクション18)またはIELTS 6.5(各セクション6.0)以下、大学院課程 TOEFL iBT Reading, Listening, Writingの各セクション20またはIELTS 6.0(各セクション5.5)以下の場合、学期開始前に英語能力試験を受験する。成績によってAcademic Englishの授業を1～2コマ受講する。		
創立年	1864年	協定締結	2003年5月
学生数	学部生19,145人、 大学院生7,635人(2021年秋)	学 期	セメスター制(秋学期:8月末～12 月、春学期:1月～5月)
宿 舎	キャンパス内に様々なタイプの設備の整った学生寮があり、女子寮もある。		
U R L	<a href="http://www.ku.edu/">http://www.ku.edu/</a>		
学 問 分 野	<a href="https://ku.edu/schools-departments">https://ku.edu/schools-departments</a>		

## ウェスタン・ワシントン大学 Western Washington University

所在地	アメリカ、ワシントン州ベリンハム	留学期間	4月～翌年3月または9月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生1人、派遣留学生1人）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、州内授業料自己負担 (2021年度：US\$9,003) 派遣留学の場合、州外授業料自己負担 (2021年度：US\$26,320) 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	交換留学の場合：年間約275万円 派遣留学の場合：年間約450万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで 在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② TOEFL iBT 80 または IELTS 6.5 以上		
創立年	1893年	協定締結	1981年6月
学生数	学部生 14,133人、 大学院生 1,064人（2021年）	学期	クォーター制（秋学期：9月～12月、 冬学期：1月～3月、春学期：4月～ 6月）
宿舎	寮またはアパート		
URL	<a href="http://www.wwu.edu/">http://www.wwu.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.wwu.edu/majors">https://www.wwu.edu/majors</a>		

## マギル大学 McGill University

所在地	カナダ、ケベック州モントリオール	留学期間	8月～翌年4月
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額自己負担 (2021年度：文系C\$29,565.51) 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	文系の場合年間約400万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生 のみ） ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 90（各セクション21）またはIELTS 6.5（各セクション6.0）以上		
創立年	1821年	協定締結	1996年1月
学生数	学部生 26,765人、大学院生 10,411人、 その他研究者等 2,091人（2021年秋）	学期	セメスター制（秋学期：8月～12月、 春学期：1月～4月）
宿舎	学内外に寮、アパート、シェアハウスなどさまざまなタイプの宿舎がある。女子寮もある。		
URL	<a href="http://www.mcgill.ca/">http://www.mcgill.ca/</a>		
学問分野	<a href="https://www.mcgill.ca/study/2020-2021/faculties-schools">https://www.mcgill.ca/study/2020-2021/faculties-schools</a>		

## アベリストウィス大学 Aberystwyth University

所在地	英国、ウェールズ、アベリストウィス	留学期間	9月～翌年6月
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2022年度：文系 £14,300 理系 £16,300 スタンダード な寮の費用込み） 本学：在籍料相当額（年額 20 万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	文系の場合年間約 380 万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部 2 年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院生は事前に国際センターに申し出ること） ② Business, Computer Science : IELTS 6.0（各セクション 5.5）、それ以外の分野：IELTS 6.5（各セクション 5.5） 6 週間の英語研修に参加する場合は Business, Computer Science : IELTS 5.5（各セクション 5.0）、それ以外の分野：IELTS 6.0（各セクション 5.5） 12 週間の英語研修に参加する場合は Business, Computer Science : IELTS 5.0（各セクション 4.5）、それ以外の分野：IELTS 5.5（各セクション 5.0）		
注 意	アベリストウィス大学での希望専攻科目に関する事前知識が必要 事前語学研修付きの場合、IELTS for UKVI のスコアの提出が必須		
創立年	1872 年	協定締結	2010 年 12 月
学生数	学部・大学院生計：6,000 人（2021 年）	学 期	3 学期制（1 学期：9 月～ 12 月、2 学期：1 月～ 3 月、3 学期：4 月～ 6 月）
宿 舎	留学生には寮が保証される。		
U R L	<a href="http://www.aber.ac.uk/en/">http://www.aber.ac.uk/en/</a>		
学 問 分 野	<a href="https://www.aber.ac.uk/en/departments/">https://www.aber.ac.uk/en/departments/</a>		

## ブリストル大学 University of Bristol

所在地	英国、イングランド、ブリストル	留学期間	9月～翌年6月 (秋学期のみの留学も可能)
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2022年度：£18,500） 本学：在籍料相当額（年額 20 万円、半期 10 万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約 480 万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部 2 年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② 本学の学業成績が原則として総合 GPA 3.0 以上 ③ IELTS 5.5（各セクション 5.0）以上（10 週間の事前英語研修付き） IELTS 6.0（各セクション 5.5）以上（6 週間の事前英語研修付き） IELTS 6.5（各セクション 6.0）以上（直接入学）		
注 意	事前語学研修付きの場合、IELTS for UKVI のスコア提出が必須		
創立年	1909 年	協定締結	2001 年 10 月
学生数	学部生 20,311 人、 大学院生 7,202 人（2019/20 年）	学 期	セメスター制（秋学期：9 月～ 1 月、 春学期：1 月末～ 6 月）
宿 舎	学生寮（食事付き、または自炊）、フラット		
U R L	<a href="http://www.bristol.ac.uk/">http://www.bristol.ac.uk/</a>		
学 問 分 野	<a href="https://www.bristol.ac.uk/study/undergraduate/subjects/">https://www.bristol.ac.uk/study/undergraduate/subjects/</a>		

## エディンバラ大学 University of Edinburgh

所在地	英国、スコットランド、エディンバラ	留学期間	9月～翌年5月
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先: 全額自己負担(2022年度: £20,700) 本学: 在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約480万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(ただし、受講できるのは学部の授業のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ IELTS 6.5(各セクション5.5)以上		
注意	3年生以上を対象とした授業(honours courses)を履修希望の場合はIELTS 6.5(各セクション6.5)以上必要		
創立年	1583年	協定締結	1991年12月
学生数	学部生26,785人、 大学院生17,725人(2019/20年)	学期	Semester制(秋学期: 9月～12月、春学期: 1月～5月)
宿舎	学寮は大学近辺に数ヶ所あり、約2,700名収容できる。さらにフラットと呼ばれる宿舎もある。本学学生のほとんどは学寮に滞在するが、フラットで生活する学生もいる。		
URL	<a href="http://www.ed.ac.uk/">http://www.ed.ac.uk/</a>		
学問分野	<a href="https://www.ed.ac.uk/schools-departments/colleges-schools">https://www.ed.ac.uk/schools-departments/colleges-schools</a>		



## ヨーク大学 University of York

所在地	英国、イングランド、ヨーク	留学期間	9月～翌年6月 (秋学期+冬学期のみの留学も可能)
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先: 全額自己負担 (2022年度: £19,600) 本学: 在籍料相当額(年額20万円、半期10万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	文系の場合年間約450万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(大学院の授業は原則として受講できない) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ Departmentにより英語要求点が異なる。下記のページにより確認すること。 <a href="http://www.york.ac.uk/study/undergraduate/applying/entry/english-language/">http://www.york.ac.uk/study/undergraduate/applying/entry/english-language/</a> (例) English and Related Literature, : IELTS 6.5(各セクション6.0)以上 Politics: IELTS 6.5(各セクション6.0)以上 Computer Science and Engineering: IELTS 6.5(各セクション6.0)以上 Mathematics: IELTS 6.0(各セクション5.5)以上		
注意	入学前に付属の語学研修センターで実施される語学研修に参加することが望ましい。		
創立年	1963年	協定締結	2001年10月
学生数	学部生14,560人、 大学院生5,675人(2020/21年)	学期	3学期制(秋学期: 9月～12月、春学期: 1月～3月、夏学期: 4月～6月)
宿舎	学生寮(食事は自炊)、フラット ※留学生(単身者)には宿舎100%保証		
URL	<a href="http://www.york.ac.uk/">http://www.york.ac.uk/</a>		
学問分野	<a href="https://www.york.ac.uk/study/undergraduate/courses/all">https://www.york.ac.uk/study/undergraduate/courses/all</a>		



## リーズ大学 University of Leeds

所在地	英国、イングランド、リーズ	留学期間	6・7・9月～翌年1月または6月
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先: 全額自己負担(2022年度: £16,600) 本学: 在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約420万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(履修できるのは学部授業のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ 10週間の事前語学研修つき IELTS 5.5(ライティング以外の1セクションのみ5.0、かつ各セクション5.0)以上(6月開始) 6週間の事前語学研修つき IELTS 5.5(各セクション5.5)以上(7月開始) 事前語学研修なし IELTS 6.0(各セクション5.5)以上(9月入学) 専攻分野によって英語要求点が異なる。詳しくは以下のウェブサイトを確認すること <a href="http://www.leeds.ac.uk/info/130117/exchange_and_study_abroad/119/language_requirements#languages">http://www.leeds.ac.uk/info/130117/exchange_and_study_abroad/119/language_requirements#languages</a>		
注 意	事前語学研修つきの場合 IELTS for UKVI のスコア提出が必須		
創立年	1904年	協定締結	2017年6月
学生数	学部生約28,000人、 大学院生約10,000人(2021年)	学 期	Semester制(秋学期: 9月下旬～12月、春学期: 1月～5月初旬)
宿 舎	学生寮、フラット(締め切りまでに申し込めば学内外の寮(食事付き、または自炊)が保証されている)		
U R L	<a href="https://www.leeds.ac.uk/">https://www.leeds.ac.uk/</a>		
学 問 分 野	<a href="https://courses.leeds.ac.uk/by-subject">https://courses.leeds.ac.uk/by-subject</a>		



## ブレーキング工科大学 Blekinge Institute of Technology

所在地	スウェーデン、カールスクロナ	留学期間	8月～翌年6月 (秋学期のみの留学も可能)
募集人数	3人(交換留学生)	対象	数学科・情報科学科(2年生以上)、 理学研究科(修士課程)
学費の減免	留学先: 全額免除 本学: 在籍料相当額(年額20万円、半期10万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約200万円	授業の言語	スウェーデン語(交換留学生用の授業に一部英語で行われるものもある)
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② TOEFL iBT 61 または TOEFL ITP 500 または IELTS 5.5 以上		
創立年	1989年	協定締結	2010年4月
学生数	約5,900人(2021年)	学 期	Semester制(秋学期: 8月下旬～1月中旬、春学期: 1月中旬～6月上旬)
宿 舎	Blekinge Student Union の HP から情報を得て、各自で手配する。		
U R L	<a href="http://www.bth.se/">http://www.bth.se/</a>		
学 問 分 野	<a href="https://bit.ly/3pizMsu">https://bit.ly/3pizMsu</a> ※交換留学生用 Course List ならびに英語で行われる科目はウェブサイトを確認すること。		



## ブレーメン応用科学大学 Hochschule Bremen, City University of Applied Sciences

所在地	ドイツ、ブレーメン	留学期間	4月～翌年2月、または10月～翌年7月（冬学期のみの留学も可能）
募集人数	1人（交換留学生）	対象	情報科学科2年生以上 理学研究科情報科学専攻（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費（年額）※	年間約190万円	授業の言語	ドイツ語、英語
出願資格	① 出願時に情報科学科2年生以上、または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 以下のいずれかの語学要件を満たしていること 英語：TOEFL iBT 72 または TOEFL ITP 543 または IELTS 5.5 以上 ドイツ語：ヨーロッパ言語共通参照枠 B2 相当（独検の場合準1級）以上 ※大学院生の場合は、英語およびドイツ語の両方を満たしていることが望ましい		
創立年	1982年	協定締結	2010年3月
学生数	8,700人（2020/21年）	学期	セメスター制（夏学期：4月上旬～9月下旬、冬学期：10月上旬～3月下旬）
宿舎	学内に学生寮はないが、近隣に学生向けアパートなどがある。		
URL	<a href="http://www.hs-bremen.de/">http://www.hs-bremen.de/</a>		
学問分野	<a href="https://www.hs-bremen.de/internet/en/studium/stg/">https://www.hs-bremen.de/internet/en/studium/stg/</a>		



## ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ Heinrich Heine University Düsseldorf

所在地	ドイツ、デュッセルドルフ	留学期間	10月～翌年7月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	学芸学部全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約190万円	授業の言語	ドイツ語
出願資格	① 出願時に学芸学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ ヨーロッパ言語共通参照枠 B1 相当（独検の場合2級）以上 ④ 原則としてドイツ語Ⅱを履修中または修了していること		
創立年	1965年	協定締結	2017年11月
学生数	35,000人	学期	セメスター制（冬学期：10月1日～3月31日、夏学期：4月1日～9月30日）
宿舎	学内外に学生寮あり。		
URL	<a href="https://www.uni-duesseldorf.de">https://www.uni-duesseldorf.de</a>		
学問分野	<a href="https://www.hhu.de/en/studies/all-courses-of-study-at-heinrich-heine-university">https://www.hhu.de/en/studies/all-courses-of-study-at-heinrich-heine-university</a>		



## CY セルジー・パリ大学 CY Cergy Paris Université

所在地	フランス、ヴァル＝ドワーズ県	留学期間	9月～翌年6月 (秋学期のみの留学も可能)
募集人数	2人(交換留学生)	対象	学芸学部全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円、半期10万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費(年額)*	年間約190万円	授業の言語	フランス語、英語
出願資格	① 出願時に学芸学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL-iBT 61 または IELTS 5.5 以上かつフランス語能力がヨーロッパ言語共通参照枠 A2 相当(仏検準2級)以上 ④ 原則としてフランス語Ⅱを履修中または修了していること		
創立年	1991年	協定締結	2017年10月
学生数	約25,000人(2020年)	学期	セメスター制(秋学期：9月～1月、 春学期：1月～6月)
宿舎	交換留学生専用の宿舎がある。学外のアパートやホームステイも選択できる。		
URL	<a href="https://www.cyu.fr/">https://www.cyu.fr/</a>		
学問分野	<a href="https://www.cyu.fr/venir-en-programme-dechange-2">https://www.cyu.fr/venir-en-programme-dechange-2</a>		

## オーストラリア国立大学 Australian National University

所在地	オーストラリア、キャンベラ	留学期間	2月～11月
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先：全額自己負担(協定校割引適用 2021年度 AU\$26,428) 本学：全額減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約400万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(大学院の授業は原則として受講できない) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ IELTS 6.5(各セクション6.0)またはTOEFL iBT 80(Reading, Writing: 各20、Listening, Speaking: 各18)以上		
創立年	1946年	協定締結	1981年4月
学生数	25,500人(2019年)	学期	セメスター制(1学期：2月～6月、 2学期：7月～11月)
宿舎	本学学生は Ursula Hall と呼ばれる男女共同寮に入ることが多い。定員は200名弱。1年を通してコンサートやスポーツ大会など様々なイベントが企画されている。そのほかの寮を希望することもできる。		
URL	<a href="http://www.anu.edu.au/">http://www.anu.edu.au/</a>		
学問分野	<a href="https://www.anu.edu.au/about/academic-colleges">https://www.anu.edu.au/about/academic-colleges</a>		

## ディーキン大学 Deakin University

所在地	オーストラリア、ビクトリア州メルボルン (Burwood campus: メインキャンパス)	留学期間	語学研修付き: 2月~10月、または8月~翌年6月 直接入学: 2月~10月または翌年2月、または7月~翌年6月
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先: 全額自己負担 (2021年度: 3科目登録の場合1学期AU \$ 8,040、4科目登録の場合1学期AU \$ 10,720) 本学: 在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約380万円(3科目登録、寮滞在の場合)	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(大学院の授業は原則として受講できない) ② 20週間の事前語学研修付き: IELTS 4.5またはTOEFL iBT 46以上(2月または8月開始) 直接入学: IELTS 6.0(各セクション6.0)またはTOEFL iBT 69(Writing 21)以上		
創立年	1974年	協定締結	2018年6月
学生数	学部生 44,324人、 大学院生 19,016人(2021年)	学期	トライメスター制(以下“T”と表記) T1: 2月~7月、T2: 7月~10月、 T3: 11月~2月
宿舎	キャンパス内の寮(自炊)、食事付きのホームステイなど		
URL	<a href="http://www.deakin.edu.au/">http://www.deakin.edu.au/</a>		
学問分野	<a href="https://www.deakin.edu.au/courses/find-a-course">https://www.deakin.edu.au/courses/find-a-course</a>		

## フィリピン大学 University of the Philippines

所在地	フィリピン、ケソン、ディリマン	留学期間	8月~翌年5月
募集人数	1人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先: 全額免除 本学: 在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約50万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 61またはTOEFL ITP 500またはIELTS 5.5以上		
注意	授業は基本的に英語で行われるが、ある程度のフィリピン語の理解力があることが望ましい		
創立年	1908年	協定締結	1991年11月
学生数	学部生 27,328人、 大学院生 18,379人(2020年)	学期	セメスター制(1学期: 8月~12月、 2学期: 1月~5月)
宿舎	主にインターナショナル・センターと呼ばれる学生寮に入る		
URL	<a href="http://www.upd.edu.ph/">http://www.upd.edu.ph/</a>		
学問分野	<a href="https://upd.edu.ph/academics/undergraduate/">https://upd.edu.ph/academics/undergraduate/</a>		

**ハノイ国家大学外国語大学**  
**Vietnam National University, Hanoi**  
**University of Languages & International Studies**

所在地	ベトナム、ハノイ	留学期間	8月～翌年6月
募集人数	2人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先: 全額免除 本学: 在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約50万円	授業の言語	ベトナム語、英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② TOEFL iBT 79 または IELTS 6.0 以上		
創立年	1955年	協定締結	2020年7月
学生数	学部生 6,158人、大学院生 549人	学期	Semester制(1学期: 8月～12月、 2学期: 1月～6月)
宿舎	キャンパス内に学生寮あり(月額約17,000円)		
URL	<a href="http://en.ulis.vnu.edu.vn/">http://en.ulis.vnu.edu.vn/</a>		
学問分野	<a href="http://en.ulis.vnu.edu.vn/admission/undergraduate/#programs">http://en.ulis.vnu.edu.vn/admission/undergraduate/#programs</a>		

**梨花女子大学**  
**Ewha Womans University**

所在地	韓国、ソウル	留学期間	3月～12月、または9月～翌年6月
募集人数	2人(交換留学生または派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先: 交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担 (2021年度: 8,000,000KRW) 本学: 在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	交換留学の場合: 年間約90万円 派遣留学の場合: 年間約170万円	授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること		
創立年	1886年	協定締結	1987年9月
学生数	学部生 15,928人、 大学院生 5,587人(2021年)	学期	Semester制(春学期: 3月～6月、 秋学期: 9月～12月)
宿舎	学寮は4,300人を収容できる。1～4人部屋あり。 その他留学生用に InternationalHouse (770人収容) がある(1人部屋か2人部屋)。		
URL	<a href="http://www.ewha.ac.kr/">http://www.ewha.ac.kr/</a>		
学問分野	<a href="http://www.ewha.ac.kr/ewhaen/academics/college.do">http://www.ewha.ac.kr/ewhaen/academics/college.do</a>		

## 国民大学 Kookmin University

所在地	韓国、ソウル	留学期間	3月～12月または9月～翌年6月
募集人数	2人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先:全額免除 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担 (学寮は1学期約112万KRW)
所要経費(年額)*	年間約90万円	授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(学部生のみ) ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること		
創立年	1946年	協定締結	2016年4月
学生数	学部生15,162人、 大学院生3,020人(2019年)	学期	Semester制(春学期:3月～6月、 秋学期:8月末～12月)
宿舎	学内外に学寮あり		
URL	<a href="http://www.kookmin.ac.kr">http://www.kookmin.ac.kr</a> (Korean) <a href="http://english.kookmin.ac.kr">http://english.kookmin.ac.kr</a> (English)		
学問分野	<a href="https://english.kookmin.ac.kr/academics/undergraduates/globals">https://english.kookmin.ac.kr/academics/undergraduates/globals</a>		

## 南京大学海外教育学院 Institute for International Students, Nanjing University

所在地	中国江蘇省南京市	留学期間	2月～12月または9月～翌年6月
募集人数	3人(派遣留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担 (2021年度:21,000元) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約120万円	授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(ただし、受講できるのは学部の授業のみ) ② 中国語Ⅱを履修中または修了していること		
創立年	1955年(南京大学海外教育学院) 1902年(南京大学)	協定締結	2011年4月
学生数	3,153人(2015年)	学期	2学期制(秋学期:9月～1月、 春学期:2月～6月)
宿舎	留学生には寮が優先的に提供される。		
URL	<a href="http://hwxy.nju.edu.cn/">http://hwxy.nju.edu.cn/</a> (南京大学海外教育学院) <a href="http://www.nju.edu.cn/">http://www.nju.edu.cn/</a> (南京大学)		
学問分野	<a href="https://hwxy.nju.edu.cn/6010/list.htm">https://hwxy.nju.edu.cn/6010/list.htm</a>		

## 香港樹仁大学 Hong Kong Shue Yan University

所在地	中国香港島	留学期間	9月～翌年5月
募集人数	2人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)*	年間約110万円	授業の言語	英語 (一部広東語で行われるものもある)
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(学部生のみ) ② IELTS 6.0(各セクション5.5)またはTOEFL iBT 79以上		
創立年	1971年	協定締結	2016年6月
学生数	学部生5,095人、大学院生141人 合計5,236人(2015年)	学期	第1学期：9月～翌1月 第2学期：1月～5月
宿舎	学寮あり		
URL	<a href="http://www.hksyu.edu/">http://www.hksyu.edu/</a>		
学問分野	<a href="https://www.hksyu.edu/en/academic/faculties-departments/">https://www.hksyu.edu/en/academic/faculties-departments/</a>		

## 淡江大学 Tamkang University

所在地	台湾省台北県淡水鎮	留学期間	2月～翌年1月または9月～翌年6月
募集人数	2人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	寮舎費：全額免除 食費：自己負担
所要経費(年額)*	年間約75万円	授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること(学部生のみ) ② 中国語Ⅱを履修中または修了していること		
注意	派遣学生選考一次試験(中国語能力試験)は繁体字を含む		
創立年	1950年	協定締結	1994年4月
学生数	学部生20,763人、大学院生2,625人	学期	2学期制(1学期：9月～1月、 2学期：2月～6月)
宿舎	本学学生は松涛館という4人部屋からなる学寮又は留学生用の麗澤国際寮に入る。		
URL	<a href="http://www.tku.edu.tw/">http://www.tku.edu.tw/</a> (中国語) <a href="http://foreign.tku.edu.tw/lang/index-j.asp">http://foreign.tku.edu.tw/lang/index-j.asp</a> (日本語)		
学問分野	<a href="https://www.tku.edu.tw/acad.asp">https://www.tku.edu.tw/acad.asp</a> (中国語) <a href="https://english.tku.edu.tw/Academics.asp">https://english.tku.edu.tw/Academics.asp</a> (英語)		 (中国版)  (英語版)

## メトロポリタン自治大学 Universidad Autónoma Metropolitana

所在地	メキシコ、メキシコシティ	留学期間	8月～翌年6月
募集人数	2人(交換留学生)	対象	全学科(2年生以上)、 全研究科(修士課程、博士課程)
学費の減免	留学先:全額免除 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費(年額)*	年間約110万円	授業の言語	スペイン語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上あるいは大学院修士課程または後期博士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② スペイン語Ⅱを履修中または修了していること ③ DELE B1を取得していることが望ましい		
注意	語学能力によっては8月の語学研修を義務付けられる		
創立年	1974年	協定締結	2005年10月
学生数	約15,000人	学期	3学期制(1学期:8月～10月、2学期:12月～3月、3学期:4月～6月)
宿舎	ホームステイ、アパート等		
URL	<a href="http://www.uam.mx/">http://www.uam.mx/</a> (メトロポリタン自治大学) <a href="http://www.izt.uam.mx/">http://www.izt.uam.mx/</a> (メトロポリタン自治大学イスタパラパ)		
学問分野	<a href="http://www.uam.mx/lang/eng/3.html">http://www.uam.mx/lang/eng/3.html</a>		

## コルゲート大学 Language Intern

コルゲート大学（アメリカ合衆国、ニューヨーク州、ハミルトン）での Language Intern プログラムです。  
日本語担当教授、日本語インストラクターのアシスタントとして、おおよそ週 20 時間、10 ヶ月間勤務（有給イン  
ターン）し、以下のような業務を担当します。  
詳しくは、当該年度の募集要項で確認してください。

募集対象者	出願資格を満たし、第二言語習得（英語および日本語）に関心があり、その分野の研究または就業を考えている学生で、3 年次以上の英語英文学科・国際関係学科・多文化国際協力学科学部生、および文学研究科または国際関係学研究院生。
出願資格 (すべて満たすこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ①または②、あるいは①および②の資格を満たす者</li> <li>  ①日本語教員養成課程を履修中または同課程を修了した者</li> <li>  ②教職課程（英語科）履修中または同課程免許を取得した者</li> <li>• TOEFL iBT 61 点または IELTS 6.0 以上</li> <li>• 総合 GPA 3.0 以上</li> <li>• 出願時から留学期間終了時まで本学に在籍中であること</li> </ul>
Language Intern の 業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本語授業に毎日参加、教授法・学生の能力を把握</li> <li>• 1 対 1 または小グループでのチュートリアル</li> <li>• カリキュラム内外の文化や語学に関するアクティビティの実施</li> <li>• 学生の留学、海外研修支援</li> <li>• 毎週行う Table of Babel（日本語会話昼食会）の運営</li> <li>• Keck Center（外国語学習奨励センター）とのコラボレーション</li> <li>• キャンパス内で行われる担当語学クラブの活動への参加 他</li> <li>• その他コルゲート大学の本プログラム担当者または学科長から課される業務 等</li> </ul>
経費について	<p>コルゲート大学が以下の経費を負担します。 Colgate 大学までの往復の渡航費（\$1,500 まで*）、Visa 費用の一部、Colgate 大学での生活費、健康保険、学生証、ミールカード（\$2,250*）、給付金（\$ 12,000*）</p> <p>* 2021-2022 年派遣生の実績。金額は変更される可能性があります。</p>

## 留学体験記 1 協定校留学 (ソウル 梨花女子大学)

### コロナ禍での留学

学芸学部 英語英文学科 星野 莉伽

(留学期間：2021年3月～2021年12月 留学開始時：4年次)

私は韓国のソウルにある梨花女子大学にオンラインとオフライン留学をしました。韓国は以前から関心を持っていた国の1つで、大学2年生の時から第3外国語として韓国語を履修していました。韓国留学では語学力の向上だけでなく、海外での生活を通してチャレンジ精神や主張能力、問題解決能力も伸ばすことも目標に掲げていました。そして私の留学の場合は、新柄コロナウイルスの影響により前半はオンライン、後半は現地留学となり、例年にはない留学形態になりました。そのため、津田塾大学だけでなく、梨花女子大学や在日韓国大使館、隔離施設などさまざまな方と連絡を取り、自身の状況を伝え、少しでもわからないことがあれば何回でも聞かなければいけない状況が続きました。時には心が折れそうになる時もありましたが、最後に困るのは自分自身であるので、日々、日本と韓国の出入国やワクチンパスポート、日常生活の制限についてなどの情報は気にして調べていました。このような行動が今回の留学の目標のひとつである、主張能力や問題解決能力の向上に繋がったと思います。また、友人や留学生間の情報交換はコロナ禍での留学では大変助かりました。どこでPCR検査を受けるのか、ビザが下りるまでどれくらいかかるのか、外国人登録証の予約について、強制隔離についてなど情報交換をしておくと効率良く様々な手続きを進めることができると思います。

海外生活での精神面や体力面については、毎日が充実しているように見えていても、自分では気づかぬうちにストレスを受けていると思います。私はストレス解消法としてソウル市内の博物館や歴史建造物を1人や無料のガイドツアーなどで訪問しました。授業や本では感じることのできない朝鮮半島の歴史を感じることができ、内容の濃い時間を過ごすことができたので、息抜きの時間は大切だと思います。

コロナ禍での留学は行動制限もあり、精神的にも海外生活によるストレスだけではなくコロナによる不安感もあるかもしれません。上手くいかないこともあるかと思いますが、海外で生活ができていて自分自身を十分に褒め、認め、毎日過ごすことができれば留学は成功したと言えると思います。



ソウルにある北岳山  
(韓国の大統領官邸の裏にある歴史的にも意味のある山に登った時の写真)

## II-2 語学研修プログラム

国際センターでは、第2タームと夏期休暇、および春期休暇を利用して、海外の大学で英語を学ぶ約3週間の語学研修プログラムを主催しています。本研修は、本学と深いつながりのある研修校で、英語の基礎的な運用能力の向上を図ると共に、研修先での生活を通して、異文化の理解と国際感覚を身につけることを目標としています。現地での研修をより効果的なものとするため、研修前・後における TOEFL ITP 受験や、事前研修・事後研修への参加が必須となります。修了者は審査の上、単位が認定されます。

長期留学を計画する前に海外で学びたい、または、語学力を向上させたいと考えている方は、ぜひ研修参加を積極的に検討してみてください。詳細については、下記の国際センターのウェブサイトを確認してください。

<https://cie.tsuda.ac.jp/studyabroad/gogaku/>



### ● 夏期語学研修プログラム（参加者の募集時期：4月上旬～下旬）

プログラム名	国	テーマ	日程	募集人数	研修費用 (*1～3)
キングストンプログラム	英国	Business and English Language Programme	6月下旬～7月中旬	25人	約25万円～約40万円
ヨークプログラム	英国	Culture and Media Programme		32人	
マギルプログラム	カナダ	English Immersion Summer Program		32人	
インディアナプログラム	米国	Women in Leadership Program		25人	

### ● 春期語学研修プログラム（参加者の募集時期：10月下旬～11月中旬）

新規プログラムを催行する可能性があります。催行する場合、詳細は参加者の募集時期に公開予定です。

プログラム名	国	テーマ	日程	募集人数	研修費用 (*1～3)
キングストンプログラム	英国	3 week English Language Course	翌年2月	30人	約35万円

\*1：すべてのプログラムにおいて、為替レートやその他の要因により、研修費用が変動する可能性があります。

\*2：研修費用の他に、旅行費用・諸費・海外旅行保険代金・自由行動の際の個人的費用が必要になります。

\*3：研修費用に食費が含まれるかどうかは、各プログラムによって異なります。詳細については、国際センターのウェブサイトに掲載されている過年度の募集パンフレットを参照してください。



## Ⅲ 留学のための情報収集

### 1. 留学全般

#### 津田塾大学国際センター

国際センターは、津田塾大学と海外の大学との交流を促進するための活動を行っており、協定校留学をはじめとして、世界各国への留学や各種の国際交流プログラムに関する情報を提供しています。国際センターのウェブサイトへの情報掲載と併せて、各国の大学・大学院や留学関連の資料等を多数そろえていますので、留学や国際交流に関心のある方はお立ち寄りの上、情報収集のツールとして積極的にご利用ください。一人 20 分の留学相談も受け付けています（予約制）。

また、国際センターでは本学留学体験者および受入交換留学生による大学紹介を中心とした「留学フェア」をはじめ、学内外の関係者による留学関連の説明会を開催しています。興味のあるものに是非ご参加ください。

取扱資料：各国大学・大学院資料、留学ガイドブック・マニュアル、留学雑誌・書籍、留学報告書、奨学金資料、語学試験資料、TOEFL・IELTS 関連資料、語学研修・国際交流プログラム

場 所：小平キャンパス 7 号館 1F

開室時間：月～金曜日 9:00～11:15 12:15～16:00

Tel : 042-342-5164 Fax : 042-342-5290

Email : cie@tsuda.ac.jp URL : <https://cie.tsuda.ac.jp/>



国際センター  
ウェブサイト

#### 【留学相談】

月～金曜日 12:15～16:00 対面/オンライン（祝祭日、大学の休日、8 月は留学相談も休みとなります。）  
留学相談は予約制となります。

〈詳細・予約方法〉

URL : <https://cie.tsuda.ac.jp/support/consultation/>



留学相談  
詳細・予約方法

#### 【過去の留学体験報告】

URL : <https://cie.tsuda.ac.jp/report/>



留学体験報告

#### 独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援サイト

日本学生支援機構（JASSO）では、海外留学を考える方にぜひ読んでいただきたい基本情報をまとめ、公開しています。国別留学情報も紹介しています。

URL : <http://ryugaku.jasso.go.jp>

なお、語学検定試験については P.31～33、奨学金については P.54～56 を参照してください。

## 2. 各国の留学情報

国際センターのウェブサイト、留学に役立つ各国のウェブサイト、留学の情報を掲載していますので、参考にしてください。

留学・国際交流情報リンク集：<https://cie.tsuda.ac.jp/support/link/>



## 3. 各種英語試験

### (1) TOEFL

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカの ETS (Educational Testing Service) が作成する英語を母語としない人々の英語能力を測定するテストです。多くの国で実施され、アメリカ・カナダなど英語圏を中心として、留学のための必須のテストとなっています。

主なテストの種類としては、TOEFL iBT テスト (TOEFL Internet-based Test) と TOEFL ITP テスト (TOEFL Institutional Test Program) があります。後者は団体向けのペーパーテストであり、本学でも ITP の学内試験を実施しています。詳細については、国際センターのウェブサイトで確認してください。ITP の結果は、留学先へ提出する正式な証明としては利用できない場合がほとんどですが、本学の協定校留学への応募の際に、一部の協定校で利用できます。詳細については、国際センターに直接お問い合わせください。

#### ● TOEFL iBT の問い合わせ先

- 受験前の問い合わせについて (受験申し込み、受験会場変更、キャンセル等) :

TOEFL iBT Regional Registration Center (RRC)

プロメトリック株式会社 RRC 予約センター

TEL : 03-6204-9830 (9 : 00 ~ 18 : 00 土日祝休)

郵送 : 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 5F

URL : <http://www.prometric-jp.com>

- 受験後の問い合わせについて (スコア、スコアレポート発送等) :

TOEFL テスト主催団体 Educational Testing Service (ETS)

Customer Support Center in Japan

TEL : 0120-981-925 (フリーダイヤル) (9 : 00 ~ 17 : 00 土日祝休)

URL : [https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/inquiry.html](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/inquiry.html)

### (2) IELTS

IELTS (アイエルツ) は International English Language Testing System の略称で、世界最大級の受験者数を誇る国際英語運用能力評価試験であり、留学などの際に英語力を証明するための試験として、世界各国における多くの機関で採用されています。試験は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのセクションで構成されており、各セクションのスコアと総合評価とが、それぞれ 1.0 から 9.0 まで、0.5 刻みのバンドスコアで示されます。

本学でも年に 2 回、本学学生を対象とした IELTS (アカデミック・モジュール) の公式試験を学内で実施しています。日程等の詳細については、国際センターのウェブサイトで確認してください。

英国政府は 2015 年 4 月 6 日より、これまで実施されてきた IELTS (アカデミック・モジュールとジェネラル・モジュール) に加え、ビザの取得を目的とした IELTS for UK Visas and Immigration (IELTS for UKVI) を導入しました。IELTS for UKVI は認定を受けた東京と大阪のテストセンターでのみ受験可能です。

Highly Trusted Sponsor (HTS) の資格を持つ教育機関へ、学位（学士、修士、博士など）レベルの留学のために Tier4 学生ビザを申請する場合、留学先の教育機関が指定する語学力証明を提出する必要があります。教育機関によって受験する IELTS の試験タイプが異なりますので、必ず留学先の教育機関へ確認してから申込みをしてください。

## ● IELTS の問合せ先

公益財団法人日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター

東京・横浜／川崎・札幌・仙台・埼玉・金沢・長野・静岡会場

〒162-8055 東京都新宿区横寺町 55

Tel 03-3266-6852 Fax 03-3266-6145

URL : <https://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

公益財団法人日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター

大阪・京都・神戸・名古屋・広島・岡山・福岡・熊本会場

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 1-3-16 京富ビル 4F

Tel 06-6455-6286 Fax 06-6455-6287

URL : <https://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF)

IELTS 公式テストセンター東京

URL : <https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/>

E-mail : [info@japanstudyabroad.org](mailto:info@japanstudyabroad.org)

〈東京〉

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-4-15 三井生命高田馬場ビル 5F

Tel 03-6273-9356 Fax 03-6273-9357

〈大阪〉

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 5 丁目 1-1 若杉西梅田ビル 701

Tel 03-5287-2941

## ● IELTS for UKVI の問合せ先

ブリティッシュ・カウンシル

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1-2

Tel 03-3235-8011 (月～金 10:00-17:00) Fax 03-3235-8040

URL : <https://www.britishcouncil.jp/>

## 4. その他語学能力試験

### 本学第二外国語言語の検定試験の基本情報

各試験の詳細については、該当 URL をそれぞれご確認ください。

中国語	HSK 中国語能力試験	<a href="http://www.hskj.jp/">http://www.hskj.jp/</a>
	中国語検定試験	<a href="http://www.chuken.gr.jp/">http://www.chuken.gr.jp/</a>
	TOCFL (華語文能力測驗)	<a href="http://tocfl.tecc.jp.com/">http://tocfl.tecc.jp.com/</a>
朝鮮語	韓国語能力試験	<a href="https://www.kref.or.jp/examination">https://www.kref.or.jp/examination</a>
	ハングル能力検定試験	<a href="https://www.hangul.or.jp/">https://www.hangul.or.jp/</a>
スペイン語	DELE スペイン語検定試験	<a href="https://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/information_diplomas_spanish.htm">https://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/information_diplomas_spanish.htm</a>
	スペイン語技能検定試験	<a href="https://casa-esp.com/">https://casa-esp.com/</a>
ドイツ語	ゲーテ・ドイツ語検定試験	<a href="http://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/prf.html">http://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/prf.html</a>
	ドイツ語技能検定試験	<a href="http://www.dokken.or.jp/">http://www.dokken.or.jp/</a>
ロシア語	ロシア語検定試験	<a href="http://taibunkyo.jp/staticpages/index.php/exam-2020">http://taibunkyo.jp/staticpages/index.php/exam-2020</a>
	ロシア語能力検定試験	<a href="https://www.tokyorus.ac.jp/kentei/">https://www.tokyorus.ac.jp/kentei/</a>
フランス語	DELFF (Diplôme d'études en langue française)・DALF (Diplôme approfondi de langue française)	<a href="https://www.delfdalf.jp/">https://www.delfdalf.jp/</a>
	TCF (Test de Connaissance du Français)	<a href="https://www.delfdalf.jp/tcfmodalites_jp.php">https://www.delfdalf.jp/tcfmodalites_jp.php</a>
	実用フランス語技能検定試験	<a href="https://apefdapf.org/">https://apefdapf.org/</a>
	フランス語能力認定試験 TEF	<a href="https://www.ccfj.com/talk/tef/">https://www.ccfj.com/talk/tef/</a>

出典：各試験主催・実施団体ウェブサイト

各検定試験におけるレベルについては、外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR: Common European Framework of Reference for Languages) のホームページをご参照ください。  
URL: <https://www.coe.int/en/web/common-european-framework-reference-languages/>

## 5. 学内での語学力向上ツール

### (1) ライティングセンター

津田塾大学ライティングセンターでは、ネイティブ・スピーカーの教員が English Writing の個別相談 (予約制) をおこなっています。TOEFL や IELTS、TOEIC などのライティング対策にぜひ活用してください。

また、協定交留学などの志望理由書 (日本語、英語) の相談にも応じています。ライティングセンターでは「添削」はしていません。教員と 1 対 1 で話し合いながら、文章の問題点や改善策などを共に考えます。話し合い、考えを深めるなかで、留学の目的や「やりたいこと」も明確になるでしょう。英語相談の場合は英語でのやりとりになりますので、リスニングや、自分の考えを英語でしっかり伝えるスピーキングの練習にもなります。

英語担当の教員とおしゃべりを楽しむ「英語ライティング・カフェ」も開催しています。こちらは予約不要で昼休みに開いていますので、気軽にご参加ください。

日時などはライティングセンターのサイトでご確認ください。

URL: <https://twc.tsuda.ac.jp/index.html>

### (2) 外国語チャットルーム

津田塾大学 小平キャンパスにて、第二外国語の「外国語チャットルーム」を開催しています。留学生やネイティブスピーカーの教員と、楽しくおしゃべりしながら自由に学習できる場として、多くの学生が活用しています。なお、外国語チャットルームは授業ではありません。

#### 【開催言語】

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語

#### 【開催期間】

第 1 ターム、第 3 ターム、第 4 ターム計 15 回

#### 【開催場所】

2020 年度、2021 年度はオンラインを活用し、実施いたしました。

問い合わせ先: 学芸学部事務室 (外国語) [gaikokugo@tsuda.ac.jp](mailto:gaikokugo@tsuda.ac.jp)

# IV 留学に関する学籍と手続き

留学を考えるにあたっては、本学における留学に関する学籍の違いや手続き方法、所属する学部学科・コース等の履修について十分理解したうえで計画的に準備を始めてください。詳細については履修要覧の「学籍」の項をよく読んでください。以下は、学部を中心として説明します。「教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室」と記載がある個所については、各所属キャンパスで手続きを行ってください。

海外には秋に学期が始まる大学があります。その場合、本学での履修が中断されますが、本学での単位修得を妨げないよう「科目継続」や「登録延期」などの措置があります（留学期間を含めて4年間で本学を卒業できる場合もあります）。

## 1. 「留学」と「休学」の違い

留学に係る学籍には「留学」と「休学（による留学）」の2種類があります。「留学」と「休学」のどちらを選んだ方がよいのか、あるいは自分の留学計画はどちらに相当するのか、以下のそれぞれの特徴をよく見て検討してください。

なお、協定校留学は「留学」、語学研修のみの場合は「休学」となります。その他の長期留学についてのみ「留学」か「休学」を選んだ上で手続きを行います。

### 【「留学」・「休学」の違い一覧】

学籍	留学（休学しないで留学する）	休学（休学して留学する）
留学資格	本学に1年以上在学し、前年度までに30単位以上修得済みであること	前提となる条件はない。
期間	最長2年間	通算して4年間まで
修業年限 <sup>(注1)</sup>	1年までは修業年限および在学期間に、残りの1年（2年目）は在学期間 <sup>(注2)</sup> に算入される。	休学期間 <sup>(注3)</sup> に算入される。
本学学費	協定校への留学：当該年度の募集要項による。 協定校以外への留学：留学期間中は本学学費を在籍料*相当額に減免する。 *在籍料：年額20万円（半期10万円）	休学期間中は在籍料*を納入する。 *在籍料：年額20万円（半期10万円）
単位の認定	審査により本学の他の認定科目と合わせて30単位まで認定され、本学の卒業要件として算入できる。	原則としてできない。 (詳細は「5. 単位認定」を参照のこと)
卒業	1年間の留学期間を含め4年間での卒業の可能性あり	4年間での卒業不可
留学先大学の条件	以下の条件をすべて満たすこと ①学士号以上の学位授与権を有する教育機関であること ②単位修得を目的とした留学であること ③留学期間について、受入先が2学期制をとる場合には1学期以上、3学期ないし4学期制をとる場合には2学期以上であること	留学の学籍を満たさない場合

(注1) 本学の教育課程を修了するために必要な期間（4年間）

(注2) 本学において在学することができる期間（休学期間を除き8年間）

(注3) 修業年限および在学期間には算入されない

## (1)「留学」の学籍

留学の学籍として認められる期間は最長2年間で、そのうちの1年までは修業年限、残りの1年は在学期間となります。

<b>Q：「留学」の学籍を希望する場合、留学先の大学を選ぶ際に条件はありますか？</b>
<p>次の条件をすべて満たしていることが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学士号以上の学位授与権を有する教育機関であること</li> <li>②単位修得を目的とした留学であること</li> <li>③留学期間について、受入先が2学期制をとる場合には1学期以上、3学期ないし4学期制をとる場合には2学期以上であること</li> </ul>
<b>Q：語学研修付き私費留学の場合、学籍はどうなりますか？</b>
<p>語学研修（1学期相当）と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入れ通知に「語学研修付き留学」と明記されている場合、語学研修期間も含め「留学」の学籍となります。ただし、語学研修付き留学の許可を得て「留学」の学籍となった後、諸般の事情により語学研修のみで帰国した場合や語学研修期間終了時に大学への入学許可が得られなかった場合は、「休学」の学籍となります。なお、この事例では、語学研修期間の過ごし方が重要です。語学研修付き私費留学が許可された場合、語学研修終了後速やかに語学研修時の成績評価および大学への入学許可書を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出してください。</p>
<b>Q：「留学」の学籍を希望する場合、津田塾大学の履修状況に条件はありますか？</b>
<p>本学に少なくとも1年以上在学し、前年度までに30単位以上の科目を修得していなければなりません。</p>
<b>Q：4年間で卒業することはできますか？</b>
<p>「留学」の学籍で留学した場合は、留学期間が修業年限に含まれ、単位認定の申請ができるので、単位修得状況、留学時期や留学期間にもよりますが、卒業要件を満たせば4年で卒業することも可能です。詳細は教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で確認してください。</p>
<b>Q：留学先で修得した単位は津田塾大学の卒業単位として認められますか？</b>
<p>留学先の大学で修得した科目が本学で開講されている科目に相当すると認められた場合、修得した単位が本学の科目の単位として認定される制度があります。詳細は「5. 単位認定」を参照してください。</p>
<b>Q：後期から留学する場合、通年科目の履修はどうなりますか？</b>
<p>複数タームにまたがって開講される学芸学部科目の履修を当年度の途中のターム末で中断し、翌年度の途中から履修を再開する、「科目継続」という制度があります。詳細は「3. 科目継続」を参照してください。</p>

## (2) 「休学」の学籍

休学期間は、半年または1年とし、修業年限および在学期間に算入されません。

Q：どのような場合に「休学」の学籍になるのですか？
「留学」の学籍を満たさない場合です。以下のような例は「休学」となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1年間あるいは半年間の語学研修を受ける。</li> <li>• コミュニティ・カレッジや専門学校に留学する。</li> <li>• 聴講生として履修する。</li> </ul>
Q：「休学」の学籍で注意すべきことは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 休学期間は修業年限に含まれないため、4年間で卒業することはできません。</li> <li>• 留学先で修得した単位の認定は原則としてできません。</li> <li>• 半年間休学すると学芸学部開講の通年科目の単位が修得できません。(留学の場合も同じ)</li> <li>• 休学期間中の本学学費は在籍料の納入となります(詳細は「(3)「留学」「休学」の場合の本学学費」にて確認してください)。</li> </ul>

「留学」と「休学」にはこのような違いがあります。留学期間を含めて4年間で卒業したい場合、また留学先で修得した単位を本学を卒業するために必要な単位の一部としたい場合は、必ず「留学」の学籍であることが必要になります。

条件を満たしているのであれば、留学先で修得した単位の認定が申請できる「留学」を選ぶことをお勧めします。

※ 「留学」より帰国し、本学での学業を再開する場合は「帰学」、「休学」による留学から帰国し学業を再開する場合は「復学」の手続きを行う必要があります。

## (3) 「留学」「休学」の場合の本学学費

### 留 学

協定校への留学：当該年度の募集要項による。

協定校以外への留学：留学期間中は本学学費を在籍料相当額に減免する。

在籍料：年額 20 万円、半期 10 万円

※学芸学部の学生で「履修登録延期願」を提出して、翌年度第1タームから履修を再開する場合、帰学する学期(前期)の学費は減免されません。

※学費減免を受けるためには、以下の期日までに「留学願」を教務課/千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出しなければなりません。

前期：5月31日(31日が土日の場合はその前の金曜日まで)

後期：10月31日(31日が土日の場合はその前の金曜日まで)

### 休 学

休学期間中は所定の期間中の学費が減免され、在籍料(年額 20 万円、半期 10 万円)を納入する。

※ただし、以下の期日までに「休学願」を教務課/千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出しなければなりません。

前期：5月31日(31日が土日の場合はその前の金曜日まで)

後期：10月31日(31日が土日の場合はその前の金曜日まで)

## 2. 「留学」「休学」の手続き

「留学」か「休学」か、自分の計画に合う方が決まったら、それぞれ次のような流れで手続きを行い、許可を得てください。

### 〈共通事項（各書類の説明）〉

留学願／休学願…留学／休学期間は、次のいずれかとする。

1年間：4月1日～翌年3月31日または10月1日～翌年9月30日

半年間：4月1日～9月30日または10月1日～翌年3月31日

留 学 許 可 願…教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出する前にセミナー担当教員（担当が非常勤教員の場合は学科主任）に「留学」について、面接のうえ指導してもらうこと。

海外滞在計画書…留学者の手続きの進行状況、科目継続、卒業計画、教員免許取得予定等を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室が把握しておくための書類。

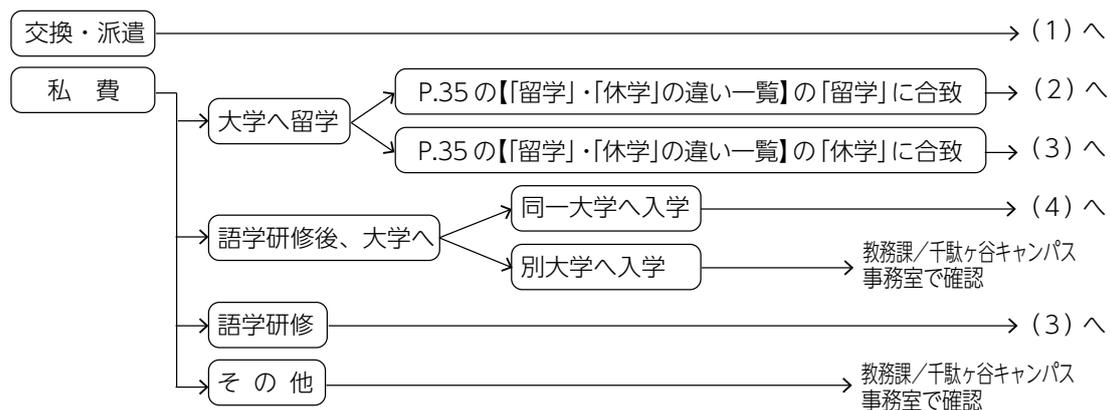
科目継続届（学芸学部開講科目のみ）：詳細は「3. 科目継続」を確認のこと。

### Attention!

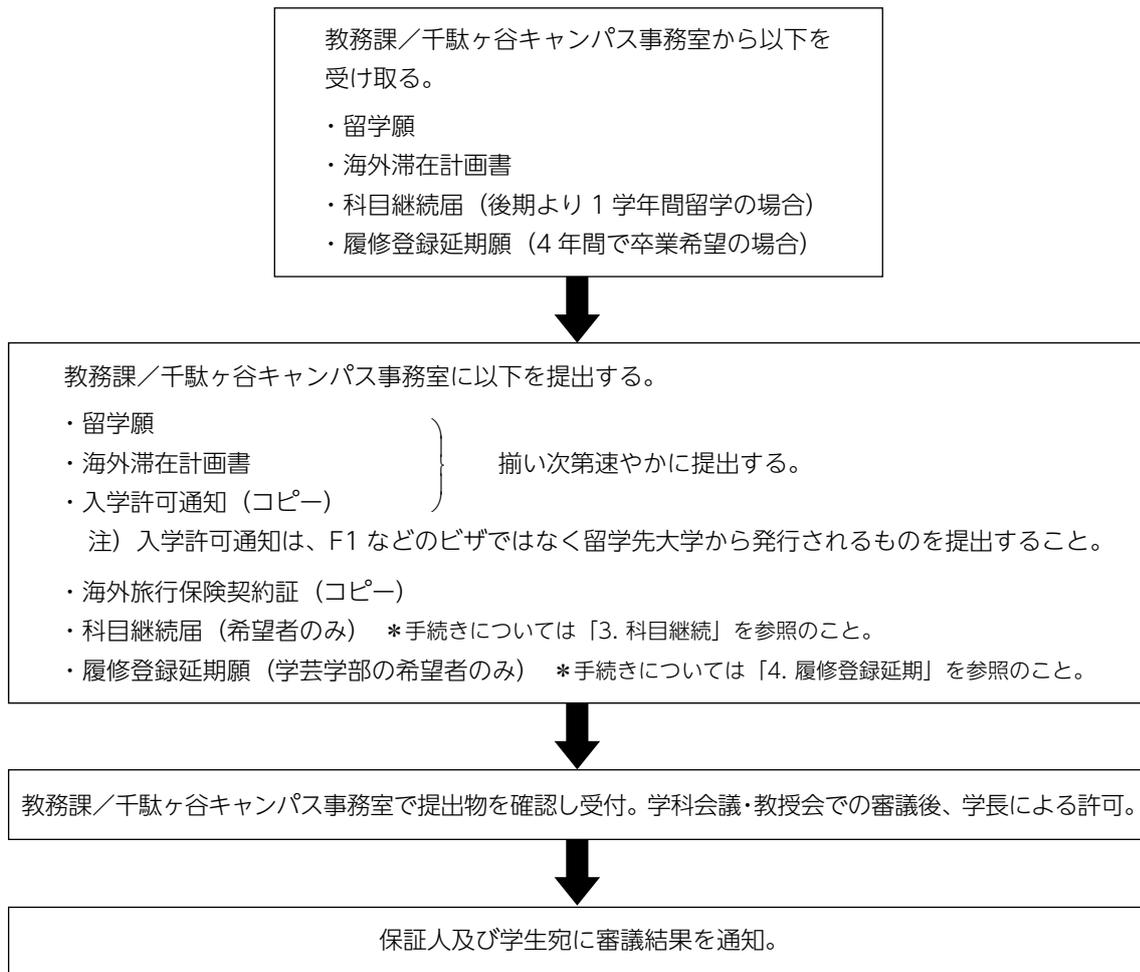
学籍変更については、様々なケースがあります。必ず事前に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に相談してください。

学芸学部の学生は、留学・休学の申請について、教務課への書類提出だけでなく、学芸学部事務室にも申し出てください。セミナーについて確認しておく必要があります。（「6. セミナー登録」参照）

学籍に関する手続きの流れについては、次ページからの該当の説明を参照してください。



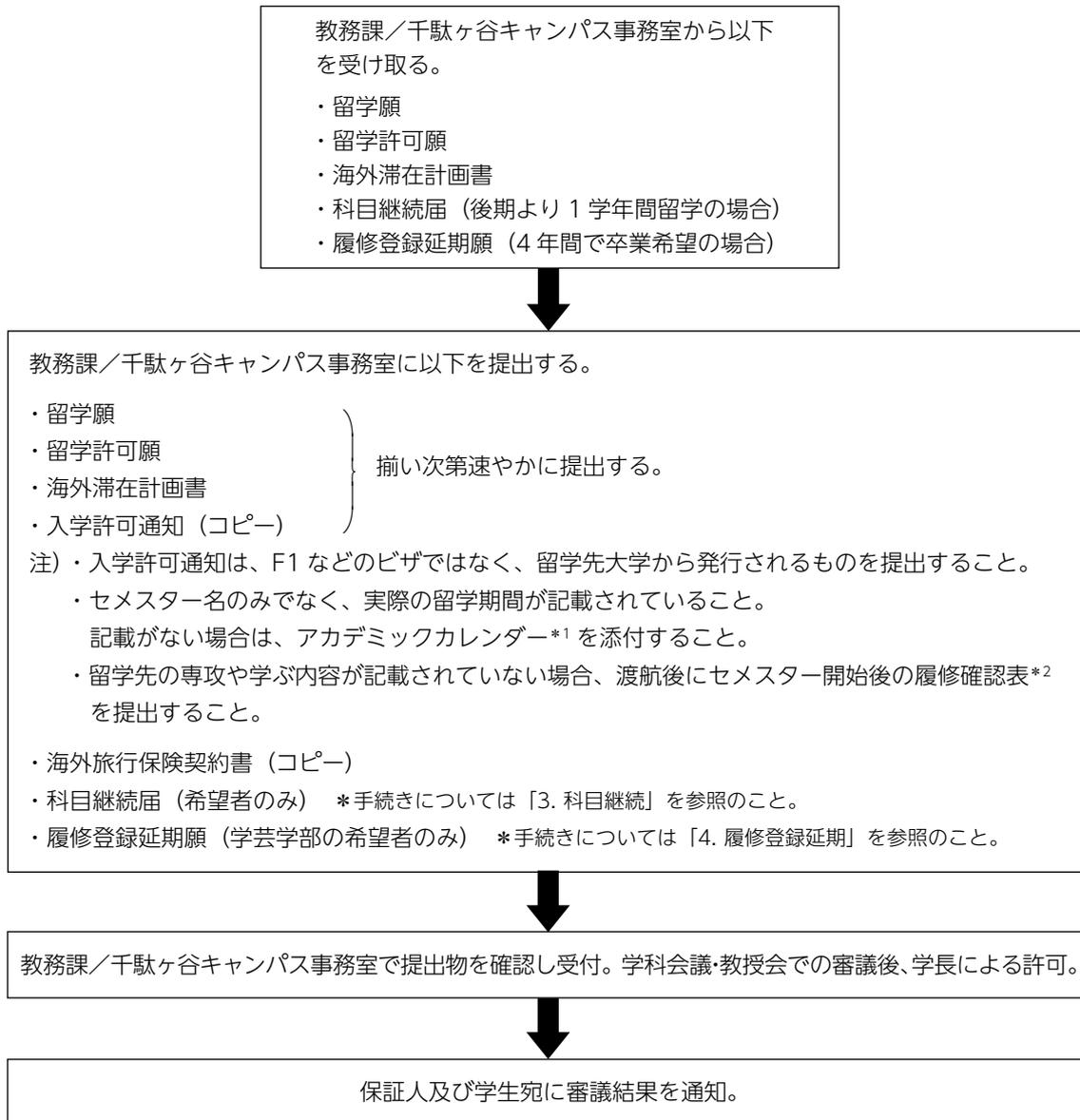
## (1) 交換・派遣留学 手続きの流れ〔学籍：留学〕



### Attention!

協定校への留学の場合、留学期間終了後に続けて休学・留学を申請することはできません。留学期間終了後は本学で履修を再開してください。

## (2) 私費留学 手続きの流れ [学籍：留学]



\*1 アカデミックカレンダーは、留学先大学のウェブサイト等に掲載されています。

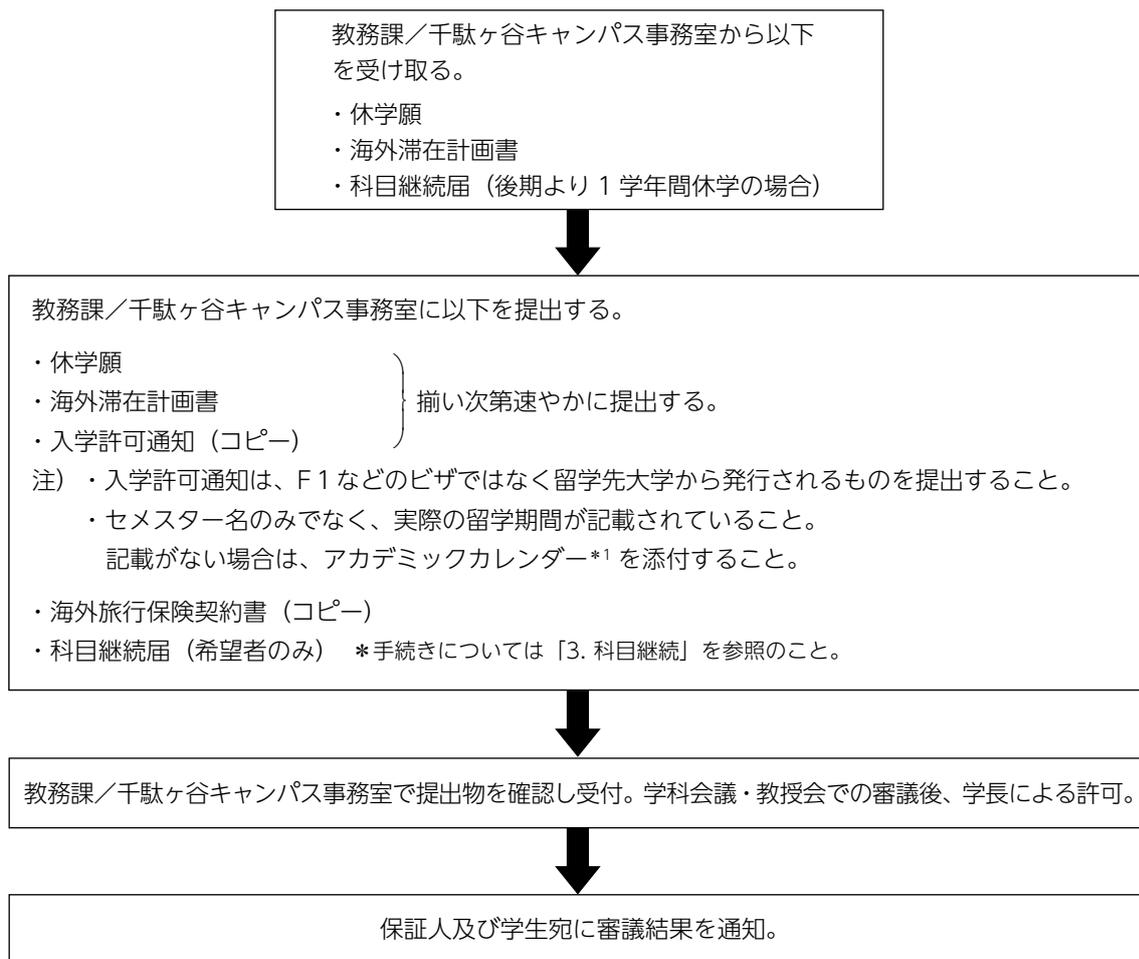
該当期間を印刷の上、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

\*2 現在の履修状況が確認できる正式な書類を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

ex) 履修登録後、WEB上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。

履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

### (3) 休学による留学／語学留学による休学 手続きの流れ〔学籍：休学〕



\*1 アカデミックカレンダーは、留学先大学のウェブサイト等に掲載されています。  
 該当期間を印刷の上、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

〈学籍変更について〉

学籍を「休学」から「留学」に変更する予定がある場合には、事前に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に相談してください。その際、留学前に渡す書類は、**休学願・留学願・留学許可願・海外滞在計画書**（以上4枚）です。また、留学への学籍変更決定時には、**留学先の入学許可通知（コピー）**、必要に応じて**アカデミックカレンダー**や**セメスター開始後の履修確認表\*2**を提出することになります。

\*2 現在の履修状況が確認できる**正式な書類**を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。  
 ex) 履修登録後、WEB上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。  
 履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

## (4) 語学研修付き留学 手続きの流れ【学籍：留学】

語学研修付き留学……語学研修（1 学期相当）と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入通知に「語学研修付き留学」と明記されている場合、語学研修期間も含めて「留学」の学籍とする。

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室から以下を受け取る。

- ・ 留学願
- ・ 留学許可願
- ・ 海外滞在計画書
- ・ 科目継続届（後期より 1 学年間留学の場合）
- ・ 履修登録延期願（4 年間で卒業希望の場合）

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に以下を提出する。

- ・ 留学願
  - ・ 留学許可願
  - ・ 海外滞在計画書
  - ・ 入学許可通知（コピー）
- 揃い次第速やかに提出する。

注）入学許可通知は、F1 などのビザではなく、留学先大学から発行されるものを提出すること。

- ・ セメスター名のみでなく、実際の留学期間が記載されていること。記載がない場合は、アカデミックカレンダー\*1 を添付すること。
- ・ 留学先の専攻や学ぶ内容が記載されていない場合、渡航後にセメスター開始後の履修確認表\*2 を提出すること。

- ・ 海外旅行保険契約書（コピー）
- ・ 科目継続届（希望者のみ） \*手続きについては「3. 科目継続」を参照のこと。
- ・ 履修登録延期願（学芸学部希望者のみ） \*手続きについては「4. 履修登録延期」を参照のこと。

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で提出物を確認し受付。学科会議・教授会での審議後、学長による許可。

保証人及び学生宛に審議結果を通知。

- \*1 アカデミックカレンダーは、留学先大学のウェブサイト等に掲載されています。該当期間を印刷の上、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。
- \*2 現在の履修状況が確認できる正式な書類を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。  
ex) 履修登録後、WEB 上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。  
履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

### 【重要！】

語学研修終了後、「語学研修後の成績通知書」と「学部への入学許可通知」をメール添付にて提出してください。

## 学費の減免について

### 【私費留学中の学費の減免について】

私費留学期間中、本学学費が在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）相当額に減免されます。

ただし、後述の留学に伴う「履修登録延期」を希望する場合、帰学する学期（前期）の学費については上記は適用されません。

学費減免手続きは、「留学」の願い出の正式な受理をもって自動的に行われます。経理課への手続きは不要です。

### 【休学中の学費の減免について】

休学期間中、所定期間中の学費が減免され、在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）を納入します。

## 3. 科目継続

留学・学外学修等の事由により、複数タームにまたがって開講される科目の履修を当年度の途中のターム末で中断し、翌年度の途中から履修を再開することを科目継続といいます。科目継続は、学芸学部開講科目のみが対象です。

### 科目継続の条件

- ・履修中断期間に本学での履修が一切ないこと。
- ・翌年度に該当科目を初めから履修できないこと。

#### 科目継続パターン一覧

対象科目の開講ターム	当年度		翌年度	
第1、3、4ターム開講科目	第1タームを履修	履修中断期間	第3、4タームを履修	
	第1、3タームを履修		履修中断期間	第4タームを履修
第1、3ターム開講科目	第1タームを履修	履修中断期間	第3タームを履修	
第3、4ターム開講科目		第3タームを履修	履修中断期間	第4タームを履修

※計画よりも早く留学・学外学修等を終え、その結果、翌年度に該当科目を初めから履修できる場合、その科目について、科目継続の資格を失います。

※1年間の留学・休学をした後、続けて留学や休学を申請する場合、科目継続の資格を失います。

### 留学・休学前の手続き

- ① 所定のフォームに必要事項を入力後、提出してください。フォームのURLは、科目継続の申請を希望されている旨をご連絡いただいた方へのみ、別途TsudaNetでご連絡します。申請の期日は以下のとおりです。
  - ・第1タームの履修を終え、履修を中断する場合 5月末日
  - ・第3タームの履修を終え、履修を中断する場合 10月中旬
- ② フォームの提出が確認でき次第、教務課で代行して授業担当教員に科目継続の可否を確認します。5月末日締め切りの科目継続履修継続の可否連絡は9月以降、10月中旬締切は12月以降を予定しています。

### 帰学・復学後の手続き

所定の期間（8月下旬）に所定のフォームをご提出ください。フォームのURLは、前年度に科目継続を申請された方を対象にTsudaNetでご連絡します。受け入れ許可の手続きは教務課で代行します。担当教員より許可が得られたものについて、順次、教務課にて履修登録を行っていきます。TsudaNet（Web履修成績）の時間割画面にてご確認ください。

学籍上は帰学・復学は10月1日からとなりますが、授業は第3ターム初回から出席して問題ありません。

### Attention!

科目継続は、帰国後の継続履修を確約するものではありません。

例えば、帰国後に継続した科目が開講されていなかった、必修科目と継続した科目の時限が重複してしまった等の場合は、渡航前に科目継続の手続きをしても継続することができません。

次ページ「4. 履修登録延期」を行う場合は、翌年度の前期中に帰国し本学での履修を開始しますが、1学年間の留学とみなされるため科目継続手続きが申請可能です。

## 4. 履修登録延期（学芸学部のみ）

下記の対象者が4年間で卒業するためには、履修登録延期手続きが必要です。履修登録延期手続きとは、翌年度の5月31日までに帰国の上、帰学手続きを行い、通常の履修登録期間より遅れて履修登録を行った後に履修を開始するものです。

対象者：学籍種別「留学」

留学期間 2年次または3年次の後期から1学年間（ただし、第1ターム開始後に留学期間が終了する場合で、かつ5月31日までに留学先の学期末試験を含めた最終学期が終了していること。）

### 留学前の手続き

留学に伴う履修登録延期願を教務課に提出してください。セミナー、卒論指導及び卒業研究プロジェクトについては、留学前に担当教員の許可を得ておいてください。

### 帰国後の手続き

帰学手続きを行い、5月中に履修登録の手続きをし、前期の履修を開始してください。

#### Attention!

- \*履修登録日以前は「欠席」となります。留学が終わり次第、速やかに帰国し、本学での履修を開始することをお勧めします。また、「出席重視科目」等、授業の進捗によっては登録が許可されない場合もあります。全ての科目を希望通りに履修できる制度ではないので、十分に注意してください。
- \*第1タームで完結する科目は登録できません。
- \*第1・3ターム連続で開講される科目は、授業の第7回目までに履修を開始できる場合のみ登録できます。
- \*履修登録延期願を提出して、翌年第1タームから履修を再開する場合、留学期間は後期のみとなり、翌年前期分より学費（授業料／施設設備費）が発生します。
- \*留学先の学期終了が6月以降の場合があります。その場合、この制度は利用できません。
- \*総合政策学部開講科目は、各タームで履修が完結するため、5月末日に留学先での学期が終了した場合でも、第1タームの科目履修は認められません。第2タームからの履修開始となります。

## 5. 単位認定

留学先の大学で修得した科目が本学で開講されている科目に相当すると認められた場合、修得した単位が本学の科目の単位として認定される制度のことです。（申請された科目が必ずしも認定されるとは限りません。）

対象者：「留学」の学籍で留学した場合：本学の全開講科目が認定対象（一部例外あり）

「休学」の学籍で留学した場合：本学の英語を除く外国語科目（フランス語／ドイツ語／中国語／ロシア語／スペイン語／韓国・朝鮮語）が認定対象

留学期間：半期または1学年間

**原則**

- ・留学先で単位修得した科目の授業時間数が津田塾大学の授業時間数（1ターム1単位科目：約900分、2ターム2単位科目：約1,800分、3ターム3単位科目：約2,700分）と同等もしくはそれ以上で、それを証明する書類がある場合のみ認定審査の対象となります。
- ・留学先の単位は、本学での他の認定科目と合わせて30単位を上限として認定されます。

**帰国後の手続き**

「単位認定願」を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室から配付いたしますので、記入後提出してください。その他単位認定に必要な書類は以下の通りです。

- ・留学先大学の成績証明書の原本（Transcript of Academic Record）
- ・留学先講義科目内容の説明書（Syllabus, Course Description or Course Catalogue）
  - \*講義で使用したテキスト名は控えておいてください。
- ・大学要項（College Catalogue, Brochure, Syllabus, etc. で授業日数、時間数、及び成績評価基準についての説明があるもの）
  - \*シラバスは開講学期が終わると閲覧できなくなることがあります。プリントアウトを用意しておいてください。
- ・単位認定の参考資料（テキスト、ノート、レポート、返却されたテストなど）

**Attention!**

- \*留学先で修得した単位は、セミナーや英語英文学科特設プログラムの一部科目、日本語教員養成課程の必修科目の単位に認定することはできません。
- \*留学先で修得した単位は、教員免許状取得に必要な科目（教育の基礎的理解に関する科目等・教科及び教科の指導法に関する科目）としては認められません。
- \*認定を希望する場合は、帰学届提出後早急に（2ヵ月以内）所定の申請を行ってください。
- \*原則として1回のみですので、よく考えて申請してください。
- \*単位認定手続きは、結果通知までに通常1ヵ月程度かかります。
- \*単位認定された科目の単位は、GPAの対象外となります。
- \*「語学研修付き留学」（語学研修1学期相当と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入通知に「語学研修付き留学」と明記されているもの）の場合、語学研修期間の単位は認定の対象となりません。

**6. セミナー登録**

各学科のセミナーの登録等は履修する前年度の10月～12月に行われます。この時期に留学中の学生（休学の学籍による留学者も含む）は以下のように各事務室の指示に従って登録手続きをしてください。

**(1) 学芸学部 英語英文学科****留学前**

留学に出発する前までに、必ず『英語英文学科留学・休学者連絡票』を、学芸学部事務室（英語英文学科）に提出してください（用紙はTsudaNetの「書類BOX」からダウンロード、または同事務室で配付しています）。登録のための連絡等は原則としてTsudaNetを通じて大学アカウントへ送信します。

\*合わせて、特設プログラム（翻訳・通訳プログラム、Teachers of Excellenceプログラム）の履修を希望する場合は、『英語英文学科留学・休学者連絡票』の希望欄にチェックを入れてください。翻訳・通訳プログラムの履修希望者へは、11月初旬にTsudaNetを通して、応募のための資料を送ります。

Teachers of Excellence プログラムは、2 年次の 1 月に履修希望の申し込みを行います。申し込み方法は TsudaNet を通じて連絡します。

## 留学中

**注意：3 年セミナー、4 年セミナー、卒論指導、卒業研究プロジェクトの科目継続手続きを行って留学に出た場合も、再度、登録は必要です。**

登録時期になっても連絡が届かない場合は、学芸学部事務室（英語英文学科）にお問い合わせください（[eiiji@tsuda.ac.jp](mailto:eiiji@tsuda.ac.jp)）。

### 2 年生で留学する学生

2019 年度以降入学者（学則年度が 2019 年度以降の学生）は、2 年次の 5 月頃に専攻登録を行います。登録方法は TsudaNet を通じて連絡をします。期間内に必ず登録をしてください。

### 卒業論文を書く学生

登録期間は、3 年次の第 3 ターム開始日からの約 2 週間です。5 月下旬に 3 年セミナー担当教員から配布される資料「卒業論文登録の案内」\*に記載の QR コードまたは URL から登録フォームにアクセスし、希望コースとテーマ（200 字程度）を入力の上、送信してください。

※ TsudaNet でも配信しますので、第 1 タームから留学している学生はそちらを確認してください。

### 3 年セミナー、4 年セミナー、卒業研究プロジェクトを履修する学生

登録期間は、2 年次または 3 年次の 11 月頃です。セミナー登録資料を 11 月上旬に送信します。資料表紙に記載の QR コードまたは URL から登録フォームにアクセスし、希望のセミナーを入力の上、送信してください。

第 1 希望先が定員を超えた場合、人数調整を行います。TsudaNet に掲載する第 1 次登録結果を必ず確認の上、必要な場合は第 2 次登録をしてください。

## 帰国後

専攻登録結果、セミナー・卒論指導・卒業研究プロジェクトの登録結果については TsudaNet に掲載します。分からない場合は、学芸学部事務室（英語英文学科）に確認をしてください。

## (2) 学芸学部 国際関係学科

### 留学・休学する学生

- ・ 2 年セミナー：次年度前期から留学・休学を予定している場合も、出発・休学前に 2 年セミナーの仮登録を行ってください。ただし、実際に留学・休学した場合は、その仮登録は無効になります。再度 2 年セミナーの仮登録が必要です。履修前年度の 10 月末までに学芸学部事務室（国際関係学科）（[kokuji@tsuda.ac.jp](mailto:kokuji@tsuda.ac.jp)）へ資料を請求してください。11 月以降に配付される資料等の指示に従って希望のセミナーを仮登録してください。
- ・ 3 年セミナー：次年度前期から留学・休学を予定している場合も、出発・休学前に 3 年セミナーの仮登録を行ってください。帰学・復学後、4 月から『仮登録したセミナー』を履修することになります。登録前の相談期間中に留学・休学の予定についても担当教員に相談をした上で、セミナーを選択してください。留学・休学が決定したら『仮登録したセミナー』担当教員にその旨報告してください。留学・休学中にセミナーの変更をする場合は、履修前年度の 10 月上旬までに学芸学部事務室（国際関係学科）（[kokuji@tsuda.ac.jp](mailto:kokuji@tsuda.ac.jp)）に連絡してください。
- ・ 4 年セミナーは原則として 3 年セミナーを継続しますので、担当教員に申し出てください。
- ・ 学芸学部事務室（国際関係学科）への連絡の際には、メールの件名に学籍番号と氏名をいれてください。
- ・ 後期から留学・休学する場合は、教務課で科目継続の手続きをし、次年度同じセミナーを継続してください。
- ・ 帰学・復学後、直ちに学芸学部事務室（国際関係学科）でセミナーの確認をしてください。

### (3) 学芸学部 多文化・国際協力量科

- ① 留学・休学前と帰学・復学後に学芸学部事務室（多文化・国際協力量科）に連絡をしてください。
- ② 2年セミナー：2年次第1タームから留学・休学を予定している場合も、1年次秋に行われる2年セミナーの登録を行ってください。
- ③ 3年セミナー・4年セミナー：2年セミナーを継続します。

### (4) 学芸学部 数学科／情報科学科

#### 留学前

- ① 出発前に必ず、学芸学部事務室（数学科／情報科学科）(suuji@tsuda.ac.jp) へ、下記【 】内の情報を連絡してください。  
【学籍番号、氏名、留学（休学）期間、留学（休学）先大学名および国名、留学（休学）中の連絡先（メールアドレス）】

#### 留学中

- ② 8月までに、留学先から学芸学部事務室（数学科／情報科学科）へ、セミナー登録の資料請求のメールを送ってください。
- ③ 事務室からセミナー登録について案内します。

#### 帰国後

- ④ 学芸学部事務室（数学科／情報科学科）へ連絡し、セミナーの確認をしてください。

### (5) 総合政策学部 総合政策学科

#### 留学前

- ① 4年セミナーは原則として3年セミナーを継続しますので担当教員に申し出てください。
- ② 後期から留学・休学する場合は、担当教員に了解を得て、次年度同じセミナーを継続してください。

#### 留学中

- ③ 帰学・復学後、4月から新たに2年セミナー、3年セミナーを履修予定の学生は、他の学生と同時期・同じ手順で登録を行います。千駄ヶ谷キャンパス事務室の指示に従って希望のセミナーを登録してください。

#### 帰国後

- ④ 帰学・復学する場合は、帰学・復学後に履修登録を確認し、履修を開始してください。なお、不明点があれば、千駄ヶ谷キャンパス事務室までご連絡ください。

## 7. 帰国後の手続き

留学から帰国したら、すみやかに大学に報告し、教務課・千駄ヶ谷キャンパス事務室・所属学科事務室等で所定の手続を行ってください。

### 教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室

#### ① 「帰学」手続き（留学の学籍の場合）

「帰学届」提出	留学が終了したら、必要事項を記入し教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出する。所定用紙に記入する留学期間は、「留学許可通知」に記載されている期間と同一にする。
---------	---



「帰学許可通知」発送	本学での所属学科の承認を得て教務課より本人の現住所に発送する。
------------	---------------------------------

#### 「復学」手続き（休学の学籍の場合）

「復学願」提出	休学が終了したら、必要事項を記入し教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出する。所定用紙に記入する休学期間は、休学願を提出した際の期間と同一にする。前期から復学の場合は3月1日、後期から復学の場合は8月末日までに「復学願」を提出する。
---------	--



「復学許可通知」発送	提出された書類を学科会議・教授会にて審議し、学長の許可を得て、教務課より本人の現住所に発送する。
------------	--

#### ② クラス指定科目の登録確認（後期より帰学・復学する学生のみ）

8月中旬に教務課・千駄ヶ谷キャンパス事務室でクラス指定科目（第3・4ターム開講）の履修登録を行い、登録完了の連絡をTsudaNetまたはメールで送付するので、TsudaNet（Web履修成績）の時間割にて確認すること。なお8月下旬に確認期間を設けるので、登録されていないクラス指定科目があったら所定のフォームから申し出ること。フォームのURL等、詳細はTsudaNetから連絡する。

#### ③ 「科目継続」手続き

留学前に手続きをした学生は、所定の期間（8月下旬）に所定の手続きを行うこと。

#### ④ 「単位認定」手続き

単位認定の申請は帰学届提出後、2ヵ月以内に手続きを行うこと。

#### ⑤ 登録延期科目の履修登録〔学芸学部〕

事前に登録延期願を提出した学生は、帰学後、教務課の指示に従い、すみやかに履修を開始すること。

### 所属学科事務室

#### ① セミナーの登録確認

### 国際センター

#### ① 留学報告書（協定校留学レポート、私費留学レポート）の提出

#### ② 海外留学（派遣・受入）奨学金受給者報告書の提出（該当者のみ）

#### ③ 日本学生支援機構（JASSO）奨学金受給者所定報告書および本学の単位認定が確認できる成績通知書コピーの提出

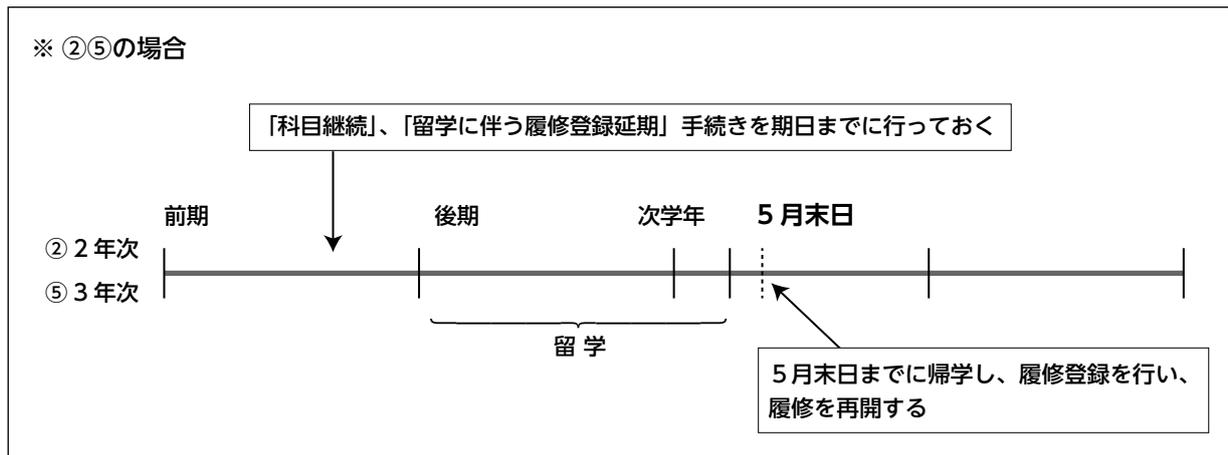
## 8. 4年間で卒業する条件

「留学」の学籍で留学した場合、以下に説明する方法で卒業要件の科目および必要単位をすべて修得することができていれば、4年間で卒業することが可能です。ただし、留学から帰ってきた年度に科目継続した科目が開講されないケースや、単位認定を希望した科目が認定されないケースもあり、卒業要件を満たすことができずに卒業が延びることがあります。

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室ならびに指導教員とよく相談してください。

### 〈学芸学部の場合〉

① 2年次前期からの留学	2年次の1年間を留学先で学び、帰学後に本学で3年次・4年次を学ぶ。2年次に本学で履修すべき科目は3年次の科目と並行して履修する。なお、1年次から2年次までの修得総単位数が32単位に満たない場合は、3年次に進級できないので注意すること。また、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
② 2年次後期からの留学（「4.履修登録延期」をする場合）※	2年次の後期から留学し、3年次の5月末日までに帰学し、かつ履修登録を行う。（前期からの履修登録をするために「留学に伴う履修登録延期」手続きが必要）。また、2年次の前期に登録した通年科目については、留学前に「科目継続」の手続きをしておくことにより、帰学後後期から同一科目を履修することが可能。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
③ 2年次後期からの留学（「4.履修登録延期」をしない場合）	2年次の後期から留学し、3年次の後期に帰学する。2年次の前期に登録した通年科目については、②と同様に「科目継続」の手続きをしておくことにより、帰学後後期から同一科目を履修することが可能。翌年4年次に、3年次と4年次の科目を同時履修して単位を修得することで、留学期間を含めて4年間で卒業することができる。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
④ 3年次前期からの留学	3年次の1年間を留学先で過ごし、帰学後に本学で4年次を過ごす。3年次に本学で履修すべき科目は4年次の科目と並行して履修する。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
⑤ 3年次後期からの留学（「4.履修登録延期」必須）※	3年次の後期から留学し、4年次の5月末日までに帰学し、かつ前期から履修登録を行うようにする（前述の②に同じ）。3年次の前期に登録した通年科目については、留学前に「科目継続」の手続きをしておくことにより、帰学後後期から同一科目を履修することができる。このようにして必要な単位を修得すれば、帰学の翌年に卒業することが可能。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。



### 〈総合政策学部の場合〉

#### ★ 1年間の留学の場合

① 2年次前期からの留学	2年次の1年間を留学先で学び、帰学後に本学で3年次・4年次を学ぶ。2年次に本学で履修すべき科目は3年次の科目と並行して履修する。
② 2年次後期からの留学	2年次の後期から留学し、3年次の前期に留学を終了し帰学する。2年次後期に本学で履修すべき科目を3年次後期に3年次の科目と並行して履修する。3年次前期に本学で履修すべき科目は、4年次前期に4年次の科目と並行して履修する。
③ 3年次前期からの留学	3年次の1年間を留学先で学び、帰学後に本学で4年次を学ぶ。3年次に本学で履修すべき科目は、4年次の科目と並行して履修する。

#### ★ 1セメスター（学期）の留学の場合

2年次前期に1セメスター（学期）留学	2年次の前期（1セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で2年次後期・3年次・4年次を学ぶ。 2年次前期に本学で履修すべき科目は3年次前期の科目と並行して履修する。
2年次後期に1セメスター（学期）留学	2年次の後期（1セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で3年次・4年次を学ぶ。2年次後期に本学で履修すべき科目は3年次後期の科目と並行して履修する。
3年次前期に1セメスター（学期）留学	3年次の前期（1セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で3年次後期・4年次を学ぶ。3年次前期に本学で履修すべき科目は4年次前期の科目と並行して履修する。
3年次後期に1セメスター（学期）留学	3年次の後期（1セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で4年次を学ぶ。3年次後期に本学で履修すべき科目は4年次後期の科目と並行して履修する。

（注）前期：第1、2ターム、後期：第3、4ターム

上記は、留学開始時期に分けた復学後の一般的な履修計画となります。これに加え、総合政策学科進級条件ならびに、履修制約を加味し、復学後の履修詳細を別途確認する必要があります。履修計画は個々で違うため、不明点等ある場合は、千駄ヶ谷キャンパス事務室教務部門（sc-kyoumu@tsuda.ac.jp）までご連絡ください。

## 9. 教職課程履修と留学について (学芸学部)

教育職員免許状取得希望者は、教職課程で定められた科目を修得しなければなりません。また、教職課程履修者のための説明会・オリエンテーション等に必ず出席し、所定の手続きを期間内に行うことが必要です。

教育職員免許状の取得を目指し、かつ在学中に留学を希望する場合は、留学する時期により、それぞれ留学前または留学後に決められた手順を踏むことで、留学と教育実習を両立することができます。しかし、留学期間を含めて本学を4年間で卒業することはできません。詳細は履修要覧「教職課程」のページをご覧ください。

4年間で卒業後、科目等履修生として教職課程を履修し、教育職員免許状を取得することは可能です。いずれにしても、留学を検討する際に教務課教職課程担当者とよく相談してください。

### ■ 教育実習及び介護体験実習までのスケジュール (履修要覧抜粋) ※詳細は履修要覧を確認してください。

		[教育実習]	[介護等体験]
1年	9月下旬 ～ 10月		① 介護等体験登録オリエンテーション (教職課程オリエンテーション)・ 介護体験登録 ② 介護等体験事前ガイダンス (教職概論)
2年	4月  1月 (春休み以降)	④ 教育実習内諾オリエンテーション ⑤ 実習校へ内諾依頼	③ 介護等体験直前オリエンテーション 介護等体験実習 実習報告書提出 介護等体験証明書(コピー)提出
3年	6月～9月中旬  9月～11月	⑥ 教育実習登録オリエンテーション・ 教育実習登録 ⑦ 教育実習事前指導	介護等体験証明書(原本)提出
4年	4月  5月～7月 (9月～11月 の場合あり) 原則として 実習終了後 2週間以内	⑧ 教育実習直前オリエンテーション ⑨ 実習校との打ち合わせ ⑩ 教育実習 ⑪ 教育実習記録等の提出 ⑫ 教育実習事後指導	

## 留学体験記 2 協定校留学（中国 南京大学海外教育学院）

### オンライン留学で得たもの

学芸学部 英語英文学科 林 渚沙

（留学期間：2021年3月～2021年12月 留学開始時：3年次）

私は2021年3月から2021年12月まで三年次の一年間を南京大学海外教育学院で学びました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により現地で学習することはできず、一年間自宅からのオンライン留学という形で授業に参加していました。

高校生の頃に日中交流イベントに参加したことをきっかけに中国に興味を持ち、大学入学後第二外国語として中国語を選択し学習していましたが、中国人の友人とコミュニケーションをとるにはまだまだ十分ではなかったことから、また大学生の内にはしかできないことをしたいという思いがあったことから留学を決意しました。

元々中国語を聞き取ったり話したりすることは苦手であったため、特に最初の一か月は先生に何を問われているのか分からないことや宿題が分からないこと、また先生の質問に中国語でなんと答えればよいか分からないといったことが多々ありました。授業時間中に積極的に発言をしたり、分からない箇所は授業終了後に分かるまで先生に付きっきりで教えてもらったり、その日習った文法事項を自分の言葉で説明しなおす練習を試みたり、授業や宿題以外でも使える時間は全て単語学習などの中国語を学ぶことに使ったりすることで徐々に自分の考えを中国語で表現できるようになっていき、一学期が終わるころには中国人の友人と問題なくコミュニケーションをとれるまでに上達しました。

一年間の留学を通じて、中国語力が向上しただけでなく、中国や同級生の出身国の文化についても学ぶことが出来たり、自分自身が日本文化や外交、歴史、政治といったものに向き合い学習したりすることも出来ました。

コロナ禍での留学ということもあり、勿論全てが思い通りにはなりませんでしたが、今でも現地に行って学べなかった悔しさは残っています。けれども、現地に行って観光などが出来ない分、先生や同級生と長期休暇中も頻りに連絡を取り合い、集まって各々の国の文化を紹介したり、中国にいる友人とテレビ電話をしたりといったように積極的に動くことで、オンラインながらも充実した留学生活を送ることになりました。

コロナ禍でオンライン授業に切り替わってしまったことで留学を躊躇っている方に、私は果敢にチャレンジしてもらいたいと思います。どんな形で留学をしようと一度挑戦したいと考えたことを投げ出してしまったり諦めたりしてしまったりは一生後悔することになると思います。オンライン留学という形に後悔は残るかもしれませんが、それでも工夫次第で後悔を減らすことはできます。是非諦めずに果敢に自分の夢を追ってください。



一学期共に学んできた同級生と先生とのクラス集合写真

# V 留学のための奨学金

## 1. 津田塾大学の奨学金

本学には、留学する学生を支援するための奨学金制度があります。  
最新情報は国際センターの下記ウェブサイトを参照ください。  
<https://cie.tsuda.ac.jp/support/scholarship/campus/>



学内奨学金

### 給付

※海外留学（派遣・受入）奨学金、海外語学研修奨学金、海外活動奨励金は単一年度にいずれか1件のみ受給可能。  
なお、応募の際は、各奨学金で指定された書類の提出が必要となる。

奨学金名	対象	支給額
津田塾大学海外留学（派遣・受入）奨学金	海外の大学に1学年間以上留学しようとする学部2年生以上（応募時）および大学院生（派遣期間中に本学に在籍中であること）。	上限 50 万円
条件等	1. 留学のための渡航予定があり、応募締切日までに入学許可書（1学年間以上）を手にしていること。 2. 月額換算 5 万円以上の留学のための給付奨学金と、本奨学金を重複して受給することはできない。 3. 全期間、語学研修またはインターンシップの場合は、応募できない。 4. 詳細は 5 月と 10 月に発表される募集要項で確認すること。	

奨学金名	対象	支給額
卒業生の寄付による派遣留学奨学金	海外の大学または大学院に留学する者、サマースクールに参加する者（応募時学部2年生以上） * 計画段階での応募も可能	上限 100 万円
条件等	1. 以下のいずれかに該当する者 ①海外の学士以上の学位授与機関への留学をし、派遣期間中に本学に在学し、かつ帰国後本学での学業を全うし学位を取得する者 ②海外の学位授与機関またはその附属機関が運営するサマースクールに参加し、サマースクール参加時に本学に在学し、かつ帰国後本学での学業を全うし学位を取得する者 2. 経済的理由のために海外の学位授与機関への留学、または海外の学位授与機関もしくはその附属機関が運営するサマースクールへの参加が困難な者 3. 本奨学生としての義務（指定するレポートの提出、寄付者への事前事後の報告など）を全うできる者。 4. 本奨学金以外の学内外の奨学金への併願は可能とする。ただし、本奨学金以外の学内の奨学金および奨励金の併給は不可とする。	

※津田塾大学大学院海外学術研究奨学金として、「海外での学会・学術調査」を対象とするもの（上限 15 万円）が別途有。

奨学金名	対 象	支給額
津田塾大学 海外語学研修奨学金	長期休暇中に、海外で短期間語学研修コース等を利用して学習を行う学部生	上限 8 万円
条件等	1. 学年について ・前期募集：2～4年生 ・後期募集：1～3年生 2. 対象言語について ・前期募集：フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、ロシア語 ・後期募集：英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、ロシア語 3. 研修時間が 30 時間未満、また観光等がセットされているプログラムは対象外。 4. 応募する語学研修に対して、他の奨学金・奨励金を受けていないこと。 5. 1 人当たりの採用回数は、在学中 1 回までとする。 6. 詳細については、5 月と 10 月に発表される募集要項で確認すること。	

奨学金名	対 象	支給額
津田塾大学 海外活動奨励金	長期休暇中に、海外でのボランティア活動、フィールドワーク、インターンシップ等に参加する学部生	上限 8 万円
条件等	1. 学年について ・前期募集：1～4年生 ・後期募集：1～3年生 2. TOEIC500 点以上、TOEFL iBT45 点以上、TOEFL ITP450 点以上、IELTS 4.5 以上、英検 2 級以上のいずれかを取得していること。 3. 総合 GPA 2.5 以上であること。 4. 観光、語学研修、ボランティア活動やフィールドワークを伴わないスタディーツアー、サークル活動の一環としての活動は対象外。 5. 応募する活動に対して、他の奨学金・奨励金を受けていないこと。 6. 1 人当たりの採用回数は、在学中 1 回までとする。 7. 詳細については、5 月と 10 月に発表される募集要項で確認すること。	

## 貸 与

奨学金名	対 象	支給金額
津田塾大学 開発途上国奨学金	開発途上国（OECD の開発援助委員会の定めによる）の地域の人々の生活向上及び well-being のための活動・研究・プロジェクトに参加する者（学部・大学院）	20 万円／人
条件等	1. 選考後 1 年以内に活動・研究・プロジェクトを実現できる計画があること。 2. 帰国年度の翌年から原則として毎年 5 万円を 4 年間で返還することが可能であること。 3. 1 人あたりの採用回数は、在学中 1 回までとする。 4. 詳細については、5 月に発表される募集要項で確認すること。	

## 2. 学外の奨学金

### (1) 大学を通して応募する奨学金

下記の奨学金は、本学を通して奨学金の申し込み手続きが必要となるものです。

#### 給付

募集要項が届き次第、国際センターの掲示板、ウェブサイト等でお知らせします。2022年度の募集は未定です。

団体名・奨学金名	対 象	支給金額
日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣)	本学の協定校に半年以上留学する学部生・大学院生で、本学から当該奨学金受給の推薦を受けた者	留学先の地域により月額 6 万円・7 万円・8 万円・10 万円 家計基準を満たす者には、渡航支援金が支給される。
日本学生支援機構 (JASSO) 留学生交流支援制度 (大学院学位取得型) 大学取りまとめ応募	海外の大学院にて修士又は博士の学位取得を目指す学生 (在生のみ。卒業生は個人応募が可能)	奨学金：留学先地域により月額 89,000 円～148,000 円 授業料：上限 250 万円/年度 支給期間は原則として修士 2 年間、博士 3 年間まで。
業務スーパージャパンドリーム 財団派遣留学奨学金	協定に基づく 1 学期以上の留学 (学部生のみ)	月額 15 万円

(金額は 2021 年度実績)

#### 貸与

募集要項が届き次第、TsudaNet 等でお知らせします。2022年度の募集は未定です。

団体名・奨学金名	対 象	支給金額 (月額)
日本学生支援機構 (JASSO) 「第二種奨学金」 (短期留学) 奨学金 ※有利子貸与	本学在学中に海外の短期大学・大学・大学院に 3 ヶ月以上、1 年以内の短期留学をする学部生・大学院生、または、3 ヶ月以上 1 年以内の研究のための留学をする大学院生	【学 部 生】 2 万円～12 万円の中から 1 万円単位で選択 【大学院生】 5 万円・8 万円・10 万円・13 万円・15 万円の中から希望額を選択
日本学生支援機構 (JASSO) 「第二種奨学金」 (海外) 奨学金 ※有利子貸与	学部・大学院 (修士・博士) の学生において、卒業見込み者及び修了後 3 年以内の者で、海外の大学または大学院への進学を希望する学生	【学 部 生】 2 万円～12 万円の中から 1 万円単位で選択 【大学院生】 5 万円・8 万円・10 万円・13 万円・15 万円の中から希望額を選択

### (2) 個人で直接応募できる奨学金

日本学生支援機構 (JASSO) の下記ウェブサイトを参照してください。

<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

また、大学宛てに案内が送付された奨学金情報については、国際センターの掲示板、ウェブサイト等でもお知らせします。



# VI 留学と就職

「留学に行ってみたいけれど、就活がどうしても気になる」「留学は就職に有利？不利？」など、留学と就職に関するさまざまな質問が国際センターや学生生活課に寄せられます。

留学経験を就職活動にどのように生かすか、また、留学と就職活動を両立する上でのポイントなど、留学前にしっかりと研究して、留学と就職に関わる不安や疑問をクリアにしましょう。

## 1. 留学前の就職活動準備

学生生活課主催の進路ガイダンスや各種セミナーを利用しながら、就職活動に関する準備を進めてください。毎年後期には各 OG による企業研究セミナーや懇親会も開催されますので、積極的に参加してください。

留学前には次のような準備をしておくといよいでしょう。

### 自分のライフプラン・キャリアプランをイメージする

まず自分はどのような仕事に就きたいのか、どのように生きていきたいのか、どんな人になりたいのかをイメージしてみましょう。そして、「留学」してどんなことを身に付けたいのか、それをキャリア（就職）にどう活かしていきたいのか、などを考えてみましょう。さらに、留学先で学びたいことや学問以外にやりたいことなども考えてみましょう。

### 企業研究・業界研究をしてみる

帰国後すぐに就職活動を始める方が多いようですが、どのような企業があるのか知識が無いと、エントリー（応募）までに時間がかかることとなります。また、帰国時期によっては、企業研究、エントリー、説明会・セミナー参加、選考という一連の就職活動のピークにすぐに直面して、とまどうことが多いようです。

業界・企業研究は、時間に余裕のある留学前に行うといよいでしょう。大学で実施するガイダンスや企業説明会への参加、OG に会って話を聞くことも有用です。また企業や就職情報会社主催の説明会も利用してください。

### 自分の就きたい仕事をイメージする

就職活動は、世の中にある仕事と自分の就きたい仕事をマッチングさせていく作業でもあります。企業研究・業界研究を行い、自分の希望する仕事を現実と重ね合わせながらイメージしてやるのが大切です。

「留学したので語学を生かせる仕事をしたい、海外とつながりのある仕事がしたい」と考えがちですが、大切なのは、「語学ができる」というよりも「語学を使って何をしたいのか」ということです。語学はあくまでも手段であって、目的ではありません。「語学」や「海外」を主眼にしすぎて、就職したら何をしたいのかということあまり考えないまま就職活動を始めると長引く場合があります。

「語学以外に留学からどのようなことを学んできたか、その経験をこれからどのように活かしていきたいか」という質問にもしっかりと答えられるように、留学生生活を過ごしてください。

### 就職用の筆記試験（SPI や一般常識）の傾向を知る

帰国してすぐに筆記試験となることもあります。市販の問題集を解いて、試験の内容や傾向を知っておきましょう。

### キャリア・センターに相談する

留学出発前にキャリア・センターで相談し、これからの予定や準備の仕方などについて確認しておきましょう。

## キャリア・センターの各種報告書を利用する

キャリア・センターには、就職活動を経験した4年生の就職試験内容報告書（企業、教員、公務員、進学）がファイルされており、自由に閲覧できます。応募から選考、内定時期まで報告されていますので、志望業界や企業の動き、選考方法について確認することができます。（ただし、毎年必ず同じスケジュールで選考が進むとは限らないので注意してください。）こちらの報告書は、キャリア・センターウェブサイトからも参照できます。

## 2. 留学中の情報収集

留学している間は勉強や現地での生活が予想以上に大変で、就職について考える時間があまり取れなかったという人が多いようです。一方で、留学中に海外の地で自分にじっくりと向きあったので、自己分析ができてよかったという人もいます。

留学期間中は、まず留学先での生活を楽しみ、しっかり学んでくることが一番大切です。そのうえで、時間を見つけて次のような情報収集を行うとよいでしょう。

### キャリア・センターウェブサイト

学内セミナー一覧、各種お知らせ、大学へ届いたイベントの案内等の情報を記載しています。一部のセミナーは録画がありますので、気になるものはぜひ視聴してみましょう。

▶キャリア・センターウェブサイト：<https://sites.google.com/tsuda.ac.jp/careercenter/>



### キャリア・センターポータルシステム

キャリア・センター個別相談の予約、求人情報、学内イベント情報、企業募集インターンシップなどが掲載されています。

▶キャリア・センターポータルシステム：<https://uc-student.jp/tsuda/>



※各自の津田塾大学のメールアドレス（@gm.tsuda.ac.jp のアドレス）とパスワードでログインが必要です。

### 企業のマイページに登録しよう

多くの企業がウェブサイト上や、就職情報サイト（マイナビ、リクナビなど）に採用活動に関する情報を公開していますので、可能な範囲内で、業界研究や企業研究、エントリー等をするといよいでしょう。マイページ限定公開のイベントも多数ありますので、興味にある企業は積極的に登録をして、オンラインで開催するイベントには参加してみましょう。

### 留学生向けの就職情報サイトをチェックしておこう

留学経験者を対象とした就職情報のウェブサイトもあります。イギリス、アメリカ、オーストラリアで留学中の学生を対象とした合同企業説明会の実施や、帰国後の学生を対象とした説明会を日本で実施します。ぜひ確認するようにしましょう。

▶キャリアフォーラム（ディスコ）：<https://www.careerforum.net/ja/>

▶マイナビ国際派就職：<https://global.mynavi.jp/>

### TOEIC® を受ける

留学後の英語力について、客観的な数字（スコア）がなければアピールが難しいことがあります。帰国後の受験でもよいのですが、スコアの結果が出るまでに時間がかかるので、留学中に受験しておくといよいでしょう。

## 留学先大学のキャリア・センターを利用しよう

留学先の大学にキャリア・センターがある場合には、ぜひ利用し、英文履歴書の書き方などについて相談してみてください。

## キャリア・センターの個別相談を利用しよう

個別相談はオンラインでも対応しています。留学中でも相談を受け付けていますので、時差に留意して申込みをしてください。

# 3. 帰国後の活動

帰国の時期によって、就職活動の仕方にも注意が必要です。まず、キャリア・センターに相談をして、自分なりの就職活動を行いましょう。

## 焦らず、環境に慣れる

周囲の友人が活動しているからといって、焦りは禁物です。まずは日本の環境に慣れることから始めましょう。ある留学経験者は、「最初の数日間は自分が日本語を話していることにも違和感があった」と話していました。時差やコミュニケーションの取り方に慣れるには多少時間がかかります。日本の生活に慣れることから始めましょう。

## 留学経験を振り返ろう

留学経験のエピソード化のコツを紹介します。

- 1) 留学の動機・目的を明確化  
目標達成のプロセスとしてまとめる。
- 2) 努力・苦労点を具体的に思い出す  
他人がわかるように、とにかく具体的に書く。  
5W1Hは大丈夫か？その情景は想像しやすいか？
- 3) エピソードの結果を数値化  
語学力や成果は数値化。数値化が難しいようであれば、周囲の自分に対する評価を入れましょう。
- 4) まとめは、アウトプット力をアピール  
〇〇を得たという吸収に終わるケースが多い。  
例)「学んだ〇〇は、貴社にて〇〇のように活かしたい」

## 留学経験の何を強みとするのか

「異文化体験」・「語学力」だけでは、強みとはいえません。

企業は、留学経験の中で、あなたが

- なぜ、そう考えたのか
- (困難な状況の中で)どんな行動をしたのか
- どんな成長をしたのか
- その成長をどうビジネスと結びつけて自分の言葉で表現できるかをみている。

## 企業は行動特性の再現性を見ている

留学中にどのような状況において、どのような課題に、どう行動をして、どう成果を上げた(乗り越えた)のか、その経験を仕事でも再現できるという、将来性をアピールしましょう！

出典：2020年9月30日「留学と就職」講師-キャリアタス就活(株式会社ディスコ)

## OG 訪問

ビズリーチ・キャンパスへ登録すると、留学先からもビデオ通話によるオンライン OG 訪問が可能です。気になる先輩がいいたら、コンタクトを取ってみるのもよいでしょう。

登録用 URL : <https://obog.br-campus.jp/?trcd=muo99otsluntsu0001>



## 留学経験者の進路

最終的に自分の個性を活かせるところをじっくり選び、満足度の高い結果になっています。2020 年 3 月、2021 年 3 月に卒業した留学経験者の主な進路は次の通りです。(順不同)

**【製造業】** カバヤ食品 / シージェイジャパン / JSR / 和信化学工業 / 潤工社 / 沖電気工業 / パナソニック / 半導体エネルギー研究所 / 日立ハイテクノロジーズ / カプコン / 荏原製作所 / シミック / 村田製作所 / シャープ / 日立ハイテク / エリクソン・ジャパン

**【通信】** KDDI

**【IT・情報サービス】** インフォニク / ウフル (uhuru) / 日鉄ソリューションズ / 日本マイクロソフト / 楽天 / エヌ・ティ・ティ・データ

**【放送・新聞・出版】** IMAGICA / 毎日新聞社 / 集英社 / リクルート

**【運輸・航空】** 伊藤忠ロジスティクス / 佐川急便 / 日本航空 / スカイマーク

**【商社・小売り】** 古河産業 / オーダーチーズ / ロフトゼビオ / シリウス / リコージャパン / シャープエネルギーソリューション

**【金融】** リそなグループ / 損害保険ジャパン日本興亜 / 明治安田生命保険 / 第四北越フィナンシャルグループ / 大和証券 / ジェイエムエス

**【法律・会計事務所】** アンダーソン・毛利・友常法律事務所 / 外国法共同事業 / 西村あさひ法律事務所 / 青和特許法律事務所 / KPMG 税理士法人 / 長島・大野・常松法律事務所

**【その他専門サービス】** パソナ / リードエグジビションジャパン / セコム / ベルシステム 24 / KPMG-FAS / CINC / グロービッツ・ジャパン / 福岡ソフトバンクホークス

**【旅行・ホテル】** プリンスホテル / エス・ティー・ワールド

**【教育】** 国立大学法人東京大学 / 栄光 / イーオン

**【法人】** 日本規格協会 / 日本国際教育支援協会

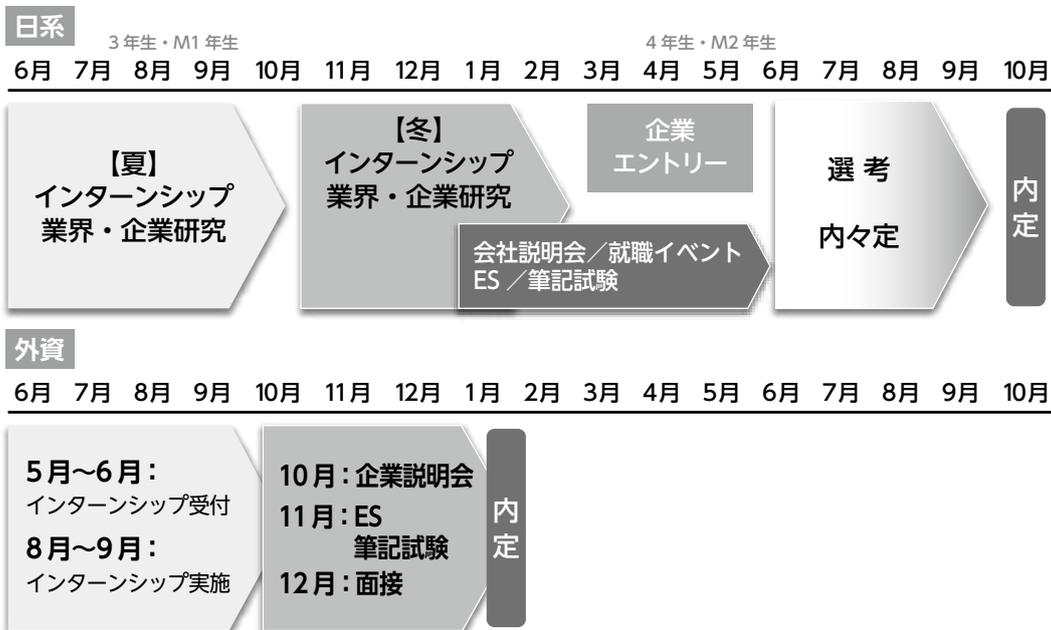
**【公務員・教員】** 防衛省 (語学専門職) / 東京都庁 / 参議院事務局 / 長野県

**【進学: 国内】** 一橋大学大学院社会学研究科 / 京都大学医学部人間健康科学学科 / 神戸大学大学院法学研究科 / 津田塾大学大学院文学研究科 / 東京大学大学院新領域創成科学研究科 / 東京大学大学院総合文化研究科 / 東北大学公共政策大学院 / 立教大学大学院法学研究科 / 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科

**【進学: 海外】** Lancaster University / The University of Edinburgh / University of Sussex

## 4. 進路決定までのスケジュール

### 日本の一般的な新卒就活スケジュール(日系・外資)



※ 2020年9月30日「就職と留学」講師・キャリアタス就活（株式会社ディスコ）資料より

## 5. 4年間で卒業を目指す場合

帰国してすぐに就職活動を始めることになりますので、2年次から学内ガイダンスには出席するなど早くから準備をすることが大切です。

## Ⅶ 渡航準備

### 1. パスポートとビザの申請

#### (1) パスポートの申請

パスポート（旅券）は、日本国籍および身分を証明する公式な文書であり、海外渡航をする際には必要不可欠です。有効期間 10 年間のものと 5 年間のものがあり、申請時にどちらかを選ぶことができます。（20 歳未満の場合は 5 年間有効の旅券のみ）。作成から発行までには 1 週間程かかりますので、時間に余裕をもって申請を行いましょう

申請に必要な書類・申請手数料等の詳細については、外務省のウェブサイト等で確認してください。

外務省ホームページ：[https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass\\_2.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html)

東京都パスポート電話案内センター：Tel 03-5908-0400

※パスポートの有効期間の残りが 1 年未満の場合は、新しいパスポートに切り替えることができます。

※パスポートの残存有効期間によっては、ビザ申請ができない国もあります。留学先国のビザ申請条件とパスポートの残存有効期間を早めにご確認ください。

#### (2) ビザの申請

留学先国の入国法に従って、出発に間に合うよう必要なビザを取得した上で、入国してください。また、ビザが免除される場合でも電子登録で渡航認証を申請する必要がある国や、ビザ申請とは別に電子登録が必要な国もあります。手続き方法、必要書類については頻繁に改正されますので、必ず各国大使館または総領事館のウェブサイト等で最新の情報を入手した上で、確実に申請してください。

### 2. 海外旅行保険

留学が決まったら、必ず出発日から帰国日までをカバーする海外旅行保険に加入します。保険未加入で海外で診療や治療を受けることになった場合、想像以上に高額な医療費の請求を受けることになります。留学先の国や大学によっては、現地の保険に入ることが義務づけられていることもありますが、放課後や休暇中は適用されない場合が多いうえ、現地と日本間の移動、急病や盗難・破損、緊急時に保護者の渡航にかかる費用、賠償責任などカバーされない部分があり、十分ではありません。必ず渡航前に海外旅行保険に加入してください。

なお、保険会社ではさまざまな保険プランを用意しています。内容やサービス、現地事務所の有無などをよく検討した上で、加入してください。

（※「留学」の学籍で渡航する学生は、保険証書のコピーを本学に提出することが義務付けられています。）

#### 〈参考になるウェブサイト〉

外務省海外安全ホームページ「海外旅行保険加入のおすすめ」：

[https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/hoken.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/hoken.html)

一般社団法人海外邦人安全協会：<http://www.josa.or.jp/index.html>

## 3. 健康面について

### (1) 健康管理

- ・環境の変化で体調を崩すことがないように毎日の生活を自己管理しましょう。  
健康を保つためにからだの抵抗力、免疫力を高めておきましょう。脂肪の多い食事、睡眠不足、ストレス、冷えは体調を崩す要因となるので注意してください。
- ・頭痛や腹痛など普段かかりやすい病気や症状を現地の言葉で伝えられるようにしておきましょう。常備薬の持参をお勧めします。持病がある場合、出発前にゆとりを持ってかかりつけ医に相談しましょう。
- ・歯の治療は済ませておきましょう。
- ・自分の血液型、食べものや薬のアレルギーについても把握しておきましょう。

### (2) 感染症について注意

- ・留学先の衛生状況や、流行している感染症の情報を事前に入手して、病気にならないための注意事項を確認しておきましょう。
- ・母子手帳にある予防接種の記録を必ず自分の目で確認してください。
- ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）については、最新の情報を確認して予防に努めてください。風邪やインフルエンザと同様に、咳エチケットや手洗い等の実施、風邪症状があれば外出を控えるように注意してください。
- ・世界各地で麻しんや風しんの感染がみられています。予防接種を2回受けていない人、まだ感染していない人は、感染のリスクがあるため出発前に免疫をつけておきましょう。
- ・麻しんや風しんの感染者がいない、あるいは発生が少ない国や地域があります。あなたが周囲の人への感染源にならないようにしましょう。
- ・少なくとも出発の3カ月前に、渡航先でかかる危険性の高い感染症について情報を集めましょう。予防接種の中には、数回接種するものがあるため、必要に応じて早めに予防接種を受けるようにしてください。
- ・生水、飲食物、動物、虫、傷口からの感染には注意が必要です。
- ・性行為感染症は、日本にいるときと同様に注意してください。

#### 〈参考ウェブサイト〉

全国大学保健管理協会、国際連携委員会等編集「海外留学 健康の手引き」  
[http://health-uv.umin.ac.jp/kanren/img/ryugaku\\_kenko\\_4.pdf](http://health-uv.umin.ac.jp/kanren/img/ryugaku_kenko_4.pdf)

### (3) 証明書の作成

- ・定期健康診断の英文証明書は、ウェルネス・センター医務室で発行しています。  
学外指定書式の証明書で、大学で実施していない検査や予防接種が必要な場合は、ウェルネス・センターでは作成できません。直接、医療機関を受診してください。

## 4. その他

- ・ 渡航準備に際し、金品の所持、クレジットカードの利用、銀行口座開設や、実際の留学生活に必要とされる情報は、国際センターにある留学体験者の報告書や、その国の政府観光庁等の基本情報で確認してください。また、下記の場合は、留学生危機管理サービス（OSSMA/OSSMA PLUS）に加入します。渡航前に必ず基本情報の登録を行ってください。OSSMA/OSSMA PLUS に加入すると、安否確認や危機管理に関する情報提供等のサービスを受けることができます。
  - “留学” の学籍で留学する場合
  - 学外学修に履修申請して参加する場合
  - 大学主催の奨学金を受給して海外活動や語学研修に参加する場合URL : [https://www.tsuda.ac.jp/student-life/crisis\\_management\\_services.html](https://www.tsuda.ac.jp/student-life/crisis_management_services.html)

# Ⅷ 危機管理

## 1. 津田塾大学 海外渡航基準

本学では、外務省の海外安全ホームページに掲載される「海外安全情報」内の危険情報を基に、全学生の海外渡航基準を次のとおり設定しています。本学では、レベル 2 以上の国・地域への渡航は認めておりません。

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

また、海外渡航先での重大事件の発生や、天災等国内外の緊急事態が生じた場合には、この基準によらず大学が判断し帰国等を指示することがあります。

カテゴリー	外務省危険情報および感染症危険情報	津田塾大学の対応
レベル 1 十分注意してください。	その国・地域への渡航、滞在にあたって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。	海外への渡航を実施また海外での活動を継続するが、十分に注意を払うよう指示する。活動地域が、レベル 1 からレベル 2 に変更になった場合にはいつでも帰国、または場合によりレベル 1 以下の国・地域に移動できるように指示する。
レベル 2 不要不急の渡航は止めてください。	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。滞在にあたって危険を避けていただくため特別な注意を払うとともに十分な安全対策を取ってください。	渡航延期または中止を基本方針とする。渡航後の場合には、帰国の準備をし、状況を確認のうえ速やかに帰国、または場合によりレベル 1 以下の国・地域に移動するよう指導する。
レベル 3 渡航は止めてください。 (渡航中止勧告)	その国・地域への渡航はどのような目的であれ止めてください。(場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)	渡航および活動は中止する。渡航後の場合には、状況を確認のうえ即時帰国、または場合によりレベル 1 以下の国・地域に移動を指示する。
レベル 4 退避してください。 渡航は止めてください。 (退避勧告)	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域に退避してください。このような状況では当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。	渡航および活動は中止する。渡航後の場合には、状況を確認のうえ即時帰国、または場合によりレベル 1 以下の国・地域に移動を指示する。

## 2. 留学中の安全対策

日本は世界でも特に治安の良い国だといわれており、留学先の国でも、つい日本と同じ感覚で無防備に行動してしまいがちです。それが思いも寄らないトラブルに巻き込まれる原因となり、最悪の場合には生命を失う結果へとつながる可能性があります。

海外での安全対策を考える上で最も心得ておくべきことは、「自分の身は自分で守る」 = 「自己防衛 (Self-Protection)」ということです。

## (1) 留学前

留学先の国・地域の治安、宗教、政治、文化の特徴、日本との違い、習慣、タブー等をよく調べることが必要です。日本では問題にならない行動が他国では大変失礼な行為に当たり、危害を加えられる結果になることもあります。「知らない」ことが危険を生むことになることを理解しましょう。また、下記のウェブサイトを参照し、治安情勢に注意してください。

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

国・地域別の治安情勢が掲載されていて、それぞれの国・地域に応じた安全対策の目安として「危険情報」が发出されています。国・地域別「安全の手引き」の項目等を参考にして、留学前のみならず留学中もその国・地域の情報をチェックしましょう。

## (2) 留学中

### ① 現地到着後

留学先の大学に到着したら、留学生担当者から安全に関するパンフレット類を入手するとともに、大学の安全対策を確認し、周辺の治安についても尋ねてください。また、オリエンテーションには必ず出席するようにしましょう。夜間に学生を送迎してくれるエスコートサービスを利用できる大学もあります。

さらに、友人や地域の人々からも日常的に情報収集するようにし、地元の警察署発行の防犯パンフレット類も入手しておきましょう。万が一被害にあってしまった場合には、適切に行動できるように、予め対処方法や緊急連絡体制を確認しておくことも大切です。

現地の緊急時の連絡先を一覧にして常に携帯しておきましょう。

警察署、消防署、在外大使館・領事館、保険会社、病院等が連絡先の例として挙げられます。

### 「安全な海外旅行のための心得5箇条」

1. 現地の法律を守り、風俗や習慣を尊重すること。
2. 危険な場所には近づかないこと、夜間の外出は控えること。
3. 多額の現金、貴重品は持ち歩かないこと。
4. 見知らぬ人を安易に信用しないこと。
5. 犯罪被害に遭ったら：命が一番大事。

(外務省海外安全ウェブサイトより)

※上記に加えて、薬物（大麻等）には絶対に手をださないこと。渡航先・滞在先の国では合法であっても、日本の法律では薬物を所持・譲受・使用等した場合には処罰の対象となることがあります。

### ② 海外留学時の安全に関するウェブサイト

留学先で安全に過ごすために、下記ウェブサイト等を参考に情報収集を行いましょう。

(参考ウェブサイト)

外務省海外安全ウェブサイト 海外留学：<https://www.anzen.mofa.go.jp/study/>

外務省ウェブサイト 世界の医療事情：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

厚生労働省 検疫所ウェブサイト 海外渡航者のための感染症情報：<http://www.forth.go.jp/index.html>

### ③ 留学中の性被害について

留学中に起こりうる性暴力があること、そして、性被害にあわないための予防法や万が一の時の対処法を知り、安全に留学生活を送れるようにしましょう。

(参考ウェブサイト)

外務省海外安全ウェブサイト 海外における女性の性的被害：

[https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/women\\_damage.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/women_damage.html)

SAYNO ! :

<https://sayno-ryugaku.com/wp-content/uploads/2020/11/d15516ec4494c0a80f17d08c67132df6.pdf>

### (3) 主な事例とアドバイス

過去の事例と対策については、下記ホームページを参考にしてください。

外務省海外安全ホームページ 国・地域別「安全の手引き」:

[https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/safety\\_guidance.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/safety_guidance.html)

また、国際センターウェブサイト上の「留学体験報告」のページも参考にしてください。

URL : <https://cie.tsuda.ac.jp/report/>



留学体験報告

#### ■新型コロナウイルス (COVID-19) について

2019 年末から新型コロナウイルスが世界中に広がり続け、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。

留学をはじめとする海外への渡航に関しても制限が生じています。国別の感染状況や感染症危険レベル、日本国政府の対応等については、以下のウェブサイト等を参照してください。

(参考ウェブサイト)

外務省海外安全ホームページ : <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

厚生労働省ホームページ : [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

## 3. 緊急連絡体制

留学前に留学中の緊急時の連絡体制を予め確認しておきましょう。

### 在留届の提出

3 ヶ月以上海外に滞在する場合は、現地到着後住所等が決まり次第速やかに在外公館（日本大使館、領事館等）に「在留届」を提出することが旅券法で義務づけられています。この登録をしておくこと、日本政府からの緊急連絡や行政サービスを受けることができるとともに、パスポートの紛失や盗難など万一の場合、適切な助言を受けることができます。

「在留届」には、氏名、本籍、パスポート番号、海外での住所、留守宅などの連絡先等を記入することになっています。用紙は在外公館はもちろん、インターネットや Fax、郵送でも入手できます。「在留届」を提出していないと、不測の事態が生じた場合の対応や日本の家族への連絡ができませんので、忘れずに手続きするようにしましょう。

なお、3 ヶ月未満の海外滞在の場合には、外務省の「たびレジ」に登録してください。短期の旅行等で滞在先を離れる場合にも、「たびレジ」に登録してください。

(参考ウェブサイト)

外務省ウェブサイト : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/>

たびレジウェブサイト : <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

在留届 外務省 ORRnet : <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

### 関係者への滞在先の周知

家族と本学に留学中の滞在先の①住所、②電話番号（携帯含む）、③ Fax 番号、④メールアドレスを知らせておきましょう。緊急時に必ず連絡がつくようにすることが重要です。なお、本学ウェブサイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) に、海外滞在中の教職員学生向けのお知らせ（緊急連絡を含む）を掲載することがありますので、チェックするようにしてください。

## 本学関連部署の連絡先

〔関連部署〕	〔電話番号〕	〔Fax〕	〔Email〕
〈小平キャンパス〉			
国際センター事務室	042-342-5164	042-342-5290	cie@tsuda.ac.jp
学生生活課	042-342-5132	042-342-5112	gakse00@tsuda.ac.jp
教務課	042-342-5130	042-342-5131	kyoumu@tsuda.ac.jp
学芸学部事務室			
英語英文学科	042-342-5150	042-342-5152	eiji@tsuda.ac.jp
国際関係学科	042-342-5155	042-342-5156	kokuji@tsuda.ac.jp
多文化・国際協力学科	042-342-5001	042-342-5156	tabunka-jimu@tsuda.ac.jp
数学科／情報科学科	042-342-5160	042-342-5161	suuji@tsuda.ac.jp
総務課	042-342-5111	042-341-2444	soumu@tsuda.ac.jp
守衛所（夜間休日受付）	042-342-5180		
〈千駄ヶ谷キャンパス〉			
千駄ヶ谷キャンパス事務室	03-6447-5911	03-6447-5913	sc-office@tsuda.ac.jp
防災管理室（夜間休日受付）	03-3478-7230		

### 本学への連絡

本学へのメールでの問い合わせや連絡の際には、本人確認の意味も含めて本学の Gmail アドレス (@gm.tsuda.ac.jp) から送信してください。

### 留学先大学の担当部署への届け出

留学する大学に到着したら、担当部署（例：International Office）に連絡先等を届けるとともに、担当部署の電話番号やメールアドレスも入手し、緊急時の連絡体制を相互に確認しましょう。

※休暇等でどこかに出かけるときは、必ず留学先大学に行き先と連絡先を伝えるようにしてください。

※日本に緊急帰国する場合などは、留学先大学だけでなく、本学の国際センター事務室にも連絡してください。

※有事の場合には、本学から留学中の学生に帰国勧告を行うことがあります。その際には必ず本学の指示に従ってください。

# IX 学外学修について

## 学外学修とは

### 対象となる活動

津田塾大学における「学外学修」は、「主にギャップターム（第2ターム＋夏期休暇）期間を活用し、自律的に学外で学修する活動」と定め、キャンパスあるいはカリキュラムを超えて学ぶことを指します。

### 各プログラムへの応募

各プログラムへの参加は、特記がない場合は個人による直接応募となります。応募、費用の支払い、渡航の手配、ビザ申請、宿泊先の手配等は各自で行ってください。本ハンドブックや学外学修センターで案内をしているプログラム以外でも単位認定の対象（審査あり）となります。詳細は「学外学修ポータルサイト」で確認してください。ポータルサイトは、学外学修センター Web サイトと TsudaNet から入ることができます。

### 学外学修に関する科目

学外学修の単位修得を希望する場合、以下の活動内容により、科目を決定します。1年次から毎年履修することもできます。科目の詳細についてはシラバス、履修手続きについては「学外学修ポータルサイト」で確認してください。

#### ●インターンシップ

科目名	科目	単位数	学部	対象
インターンシップ	随意科目	1単位	学芸学部	2021年度入学者まで
実践インターンシップ	実践学修科目	2単位	学芸学部	2022年度入学以降
インターンシップ	総合科目	1～4単位	総合政策学部	全学年

（対象例）国内外の民間企業、官公庁、自治体、NPO、コミュニティ等でのインターンシップ（就業体験）

#### ●サービスラーニング

随意科目 1単位（全学科・全学年）

（活動例）国内外の非営利組織やコミュニティでのボランティア（奉仕活動）

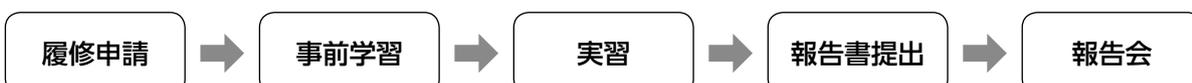
#### ●インデペンデントスタディ

随意科目 1単位（全学科・全学年）

（活動例）海外サマープログラム・語学研修、自主研究、討論大会、ビジネスコンペ、学生会議等

### 申請・履修の流れ

学外学修の申請は、原則実習開始の3週間前までに学外学修センターで行ってください。履修の流れは以下の通りです。詳細については学外学修センターにお問い合わせください。



## サマープログラム協力校

以下に紹介するのは津田塾大学と協力関係にある大学で開講され、本学から派遣実績のあるプログラムの例です。本学のギャップターム期間に参加でき、協力校によっては津田塾生向けの割引や特別枠があります。最新の情報は「学外学修ポータルサイト」をご確認ください。

※新型コロナウイルスの影響、協力校の都合により、サマープログラムの実施が中止、変更される場合があります。

※ここに記載されていないプログラムへの参加も単位認定の対象となります。

### 南カリフォルニア大学 インターナショナルアカデミー

University of Southern California International Academy

ロスアンゼルスにあるアメリカ最難関校のひとつ。映画芸術学部が有名でスターウォーズのジョージルーカス監督も卒業生。ハリウッドやディズニーランドも近い。インターナショナルアカデミーでの英語研修は7週間です。

2017年～2019年の間に、14名の津田塾生が参加しています。



### ジュネーブ国際・開発研究大学院

The Graduate Institute of International and Development Studies

スイス・ジュネーブにあり、国際関係分野では権威ある大学院。卒業生にアナン元国連事務総長など。周辺にUNHCR、ILO、WHOなどの国連機関があります。国際関係や国連に関するサマープログラムは学部生も受講可。2017年～2019年の間に、13名の津田塾生が参加しています。



### ユトレヒト大学サマープログラム

Utrecht Summer School

オランダ・ユトレヒトにあり、同国トップ大学のひとつ。ユトレヒトはミッフィーの作者ディック・ブルーナの出身地。サマープログラムではヨーロッパの歴史、文化・芸術、ビジネスなど他分野にわたり数多くのコースがオファーされています。2017年～2019年の間に、19名の津田塾生が参加しています。



### ブリティッシュコロンビア大学 バンクーバーサマープログラム

University of British Columbia Vancouver Summer Program

カナダの名門校ブリティッシュコロンビア大学で開講されるサマープログラムです。情報科学、ジャーナリズム、国際貿易/経済、政治や英語教授法など様々な分野の講義がオファーされています。2018年～2019年の間に、15名の津田塾生が参加しています。



# X 留学 Q&A

## 1. 留学準備

Q：在学中に1年間留学したいのですが、何から準備してよいかわかりません。

留学の目的、留学後の進路はどうするか等を検討し、留学の形態（協定校留学／私費留学）や開始時期、学校選びの条件を具体化する必要があります。まずはこの「津田塾生のための留学ハンドブック」をよく読んで上で、インターネット等で情報収集をしてみましょう。学内で開催される説明会にもぜひ参加してください。

Q：語学のスコアがなかなか上がりません。

本学には TOEFL や IELTS などの語学試験対策講座があります。また国際センターでは語学試験対策の本の貸出を行っています。積極的に活用してください。

## 2. 協定校留学制度

Q：協定校に留学したいです。どのように選考するのですか？

毎年、春と秋に選考試験を実施します。まず、英語または留学先の大学で使用する言語に関する一次試験があります。次に、一次試験合格者に対して面接試験を行います。応募資格や募集人数は、協定校によって様々です。募集要項で確認してください。ほとんどの協定校が語学スコアの提出を求めていますので、早めにスコア取得の準備を開始してください。毎年4月に協定校留学説明会を実施しています。ぜひ参加してください。

Q：交換留学と派遣留学の違いは何ですか？

本学学生を派遣し、協定校からも留学生を受け入れる制度を「交換留学」と呼んでいます。「派遣留学」は本学学生を派遣するだけで、協定校からの受け入れはありません。派遣留学では留学先大学の授業料減免は一部大学を除きありませんが、履修、生活面においてどちらも同様のサービスを受けられます。

Q：協定校選考試験の倍率は高いですか？

協定校によって募集条件が異なるため（語学要求点、必要経費など）倍率はまちまちですが、一般的に言って語学スコアの高い大学、留学費用のかかる大学にはそれほど多くの応募はありません。年度によっても異なります。いずれにしても、協定校留学は津田塾大学の皆さんのための制度ですので、倍率などは気にせずに行きたい協定校があったら選考試験を受けてみてください。

### 3. アメリカ留学

Q：アメリカ留学にはどの程度の語学力が必要でしょうか？

4年制大学の場合一般的には最低でも TOEFLiBT で 61 点以上、IELTS で 5.5 以上必要とされています。点数が足りない場合には、事前語学研修の参加や語学科目の履修を義務付ける「条件付入学許可」を出す大学もあります。早めに何度か TOEFLiBT あるいは IELTS を受験してスコアアップに努めましょう。(詳しくは P.31 ~ 32 参照)

Q：TOEFL 以外に受けなければならない試験があると聞きましたが…

Non-degree (Visiting) student (学位を取得しない学生) あるいは Transfer student (編入生) として留学する場合、英語のスコアの提出だけでよい場合がほとんどですが、中には SAT あるいは ACT のスコアを求められることがあります。どちらも 2 年制・4 年制大学進学を希望する高校生のための進学適性テストです。アメリカの大学が SAT のスコア提出を要求してくる場合、各大学のカタログなどを見ても、一般に TOEFL のように“〇〇点以上”と明記されていません。勿論、得点が高ければ高いほどよいのですが、仮にスコアが低くても他の面で条件を満たしていれば入学を許可される可能性があります。

Q：アメリカ留学にはどれくらいお金がかかりますか？

評判のよい私立大学は授業料が非常に高く、授業料だけで 1 年間 30,000 ~ 50,000 ドルかかることもあります。州立大学で 10,000 ~ 37,000 ドル。生活費は月平均 2,020 ドル程度かかるでしょう。その他、渡航費、保険などの費用がかかります。

Q：最初の授業登録はどのように行われるのですか？

まず留学先の大学に着いてから、授業のスケジュール表を渡され、Academic Advisor の助言のもとに登録する授業を選びます。1 年間の留学の場合、自分のとりたい科目を基に、Advisor と交渉することになるでしょう。出願時に成績証明書の提出が間に合わず、本学で修得した単位の Transfer ができなかった科目がある場合は、最新の成績証明書を持参し、それを示しながら交渉するとよいでしょう。(編入の場合は、Advisor はあなたが学位取得を目指していると考えて、長期的展望に立って、必要と思われるコースの受講を勧めてくることと思います。)

Q：何科目登録したらよいのでしょうか？

留学生は、各学期に 12 単位以上登録することが義務づけられています。1 つ 3 単位の科目なら 4 つ登録することになります。これは少ないと感じるかもしれませんが、アメリカの大学では 3 単位の科目の場合、週 3 回 1 時間の授業があり、毎回宿題が山のように出るのが普通ですから、4 科目でも毎日の予習、復習は相当ハードになります。

Q：授業はどのように進められるのですか？

まず最初の授業の時に、担当教員からシラバス(授業の進行予定表)が配られます。シラバスには、その講義の概要、読むべき本のリスト、課されるペーパーやテスト、評価基準や授業の進め方等が詳しく書かれており、これにそって授業が進められていきます。教室では教員と学生が活発に意見を述べ合う形で授業が行われますので、きっちり予習して積極的に討論に参加することが求められます。授業やペーパーのためにこなさなければならない読書量は相当なもので、これでかなり苦労したという留学経験者も多いようです。

**Q：一度登録した科目を放棄することはできますか？**

登録後、授業に出てみて、その科目の登録を取り消したくなった学生のために、登録科目を変更できる期間が1、2週間、学期の初めに設けられています。Add&Dropと呼ばれるこの期間に、できるだけ登録科目を決定するようにしてください。この期間内であれば、登録を取り消した科目について、成績証明書には何も残りません。留学生は最低12単位登録することになっていますので、12単位内で登録を取り消したい科目がある時には、他の科目を代わりにとらなければなりません。この場合には、新たに登録したい科目の担当教員の許可を得る必要があります。Add&Dropの期間を過ぎた後でも、一定期間内であれば登録した科目の放棄(Withdraw)ができますが、手続きがより面倒になり、放棄願が認められないこともあります。また、授業料は単位数で決まりますので、いつまでに登録を取り消せば全額あるいは何%払い戻してもらえるかを確認することも必要です。

**Q：4年制大学で学んだことのない分野をアメリカの大学院で学ぶことはできますか？**

学部レベルの専門が異なっても大学院留学が可能な場合があります。ただし、専攻分野によっては大学で一定の単位数を修得していること、あるいは同分野の学士号を取得していることが大学院入学の条件になっていることがありますので、調べてみてください。

## 4. 英国留学

**Q：4月から留学を開始できる制度があると聞きました。どのような制度ですか？**

JYA (Junior Year Abroad) もしくは Study Abroad Programme といい、4月から9月まで英語研修を受け、10月から1学期間(あるいは2学期間)希望する学科を選択して、英国の学生や世界各国からの留学生たちと一緒に勉強をする、という制度です。半年間の英語研修がついているので、英語力がやや足りない場合でも受け入れてもらうことができます。

**Q：英国留学にはIELTSの証明が必要なのですか？**

入学にはIELTSでBand6(各セクション5.5)以上が必要です。ライティングのスコアを要求する大学もあります。また、英国政府は2015年4月6日より、これまで実施されてきたIELTSに加えビザの取得を目的としたIELTS for UK Visas and Immigration (IELTS for UKVI)を導入しました。IELTS for UKVIは認定を受けた東京と大阪のテストセンターでのみ受験可能です。Highly Trusted Sponsor (HTS)の資格を持つ教育機関へ、学位(学士、修士、博士など)レベルの留学のためにTier4学生ビザを申請する場合、留学先の教育機関が指定する語学力証明を提出する必要があります。教育機関によって受験するIELTSの試験タイプが異なりますので、必ず留学先の教育機関へ確認してから申し込みをしてください。(詳しくはP.31～32参照)

**Q：英国留学にはどれくらいお金がかかりますか？**

1年間の学部留学で授業料が文系コースで14,000～20,000ポンド、理系コースで16,000～21,000ポンド。生活費がロンドンなど都市部で1ヵ月1,350ポンド程度、その他の地域で1,100ポンド程度かかるでしょう。

## 5. 費用・奨学金

Q：留学費用はどれくらいかかりますか？

為替レートにもよりますが、授業料はアメリカの州立大学で年間 100～400 万円程度、私立大学では年間 120～550 万円程度、英国の場合は年間 130～300 万円程度（文系）です。また、アメリカ・英国ともこのほかに年間 100～150 万円程度の生活費が必要です。協定校留学の場合は、協定の内容により異なります。

Q：留学のための奨学金について教えてください。

本学には学部生と大学院生を対象とした「津田塾大学海外留学（派遣・受入）奨学金」、「卒業生の寄付による派遣留学奨学金」があります（ともに給付型）。前者は前期と後期に、後者は年 1 回募集があり、毎年あわせて 30 人程度受給しています。その他、日本政府や外国政府による奨学金、地方自治体や民間団体による奨学金、留学先大学による奨学金があります。学外の奨学金は一般的に申請締切が早いので、留学を思い立ったら同時に奨学金も調べましょう。（詳しくは P.54～56 参照）

Q：留学中の津田塾大学の学費はどうなりますか？

留学期間中の本学学費は在籍料相当額に減免されます。（協定校留学で本学学費全額減免の場合を除く）ただし、後期から留学を開始し、登録延期願を提出して翌年の前期に帰学し通年科目・前期科目を登録する場合は前期の学費は減免されません。（詳しくは P.37 および P.43 参照）

## 6. 手続き

Q：留学する場合も留学先大学の入学試験を受けるのですか？

留学生用の入試はありません。願書、成績証明書、TOEFL などの語学スコア、推薦状、エッセーなどの書類の審査によって合否が決められます。語学力のみが足りない場合には、事前語学研修の参加や語学科目の履修を義務付ける「条件付入学許可」を出す大学もあります。

Q：推薦状は誰に書いてもらえばよいですか？

セミナーの先生あるいは自分を良く知っている先生に依頼しましょう。その際には推薦状を書くに困らないだけの十分な情報を提供してください。留学の動機やその大学を選んだ理由、留学先での学習計画、サークル活動、ボランティア活動、将来の希望などについてまとめたレジメに成績証明書や語学のスコアなどをそえて依頼するとよいでしょう。締切までに十分な時間的余裕を持って丁寧にお願ひしてください。（詳しくは P.75 参照）

## 推薦状依頼の心得

外国の大学では推薦状は具体的な内容を求められます。美辞麗句を並べたものは効果がありません。自分を良く知っている（評価している）先生に依頼しましょう。その際には推薦状を書くに困らないだけの十分な情報を提供してください。また、時間的余裕を持って（1 ヶ月くらい）依頼しなければ断られることがありますので、注意してください。

### 1. 手 順

- ①依頼する先生に面会のアポイントメントを取る
- ②推薦人となってもらえるかどうか伺う
- ③必要な書類を持参する

### 2. 持参する書類

- ①所定用紙（あれば）
- ②郵送する必要があるれば切手を貼った返信用封筒
- ③レジメ（学科・学年・氏名、志願先大学名、志願理由、留学先での学習計画、サークル活動、ボランティア活動、将来の希望などについて書いたもの。氏名はパスポート記載のローマ字表記で。）
- ④成績通知書あるいは成績証明書のコピー
- ⑤TOEFL や IELTS など語学能力証明書のコピー

### 3. 推薦人に伝える情報

- ①依頼時：推薦人が何人必要で、他に誰に依頼している（する）か  
何語で書くのか  
推薦状のあて先  
推薦状の送付（提出）先  
締切  
※奨学金のための推薦状の場合は奨学金とその奨学財団の概要、ならびに奨学金の必要性を説明する
- ②依頼後：締切までに送付（提出）してくれたか確認する  
出願先から受けた可否の結果を伝える
- ③留学後：帰国報告（会えない状況であれば手紙でも可）

Q：財政能力証明書を提出しなければなりません、どうすればよいのでしょうか。

留学期間中にかかる学費と生活費、雑費の合計を上回る額の預金がある銀行等で英文の残高証明書を作ってもらいます。ご両親などの口座を利用する場合には、口座名義人の名前で資金援助する旨を書いたサポートレターを添えてください。

【例1】口座名義人と本人が異なる場合のサポートレター

2-1-10 Tsuda-machi  
Kodaira-shi, Tokyo  
187-0025 JAPAN

March 20, 2022

To whom it may concern:

I hereby certify that the fund in my account of The Bank of Tsuda is available and will be provided for my daughter, Hanako Kokusai during her study at American State University from September 2021 through May 2022.

Sincerely yours,

*Masao Kokusai*  
Masao Kokusai

Q：複数の大学から入学許可をもらった場合、入学しない大学にはどのように断ればよいでしょう。

入学する大学を決めたら、他の大学には辞退の手紙を書きましょう。正式な受入れの書類(アメリカの場合 I-20 あるいは DS-2019)が届いていたら手紙と一緒に返送します。

【例2】入学辞退の手紙

2-1-10 Tsuda-machi  
Kodaira-shi, Tokyo  
187-0025 JAPAN

March 20, 2022

Dean of Admissions  
American State University  
Springfield, CA 95929  
USA

Dear Dean of Admissions:

Thank you for your letter stating that I have been admitted as a transfer student in the School of Social Science. Regretfully, I must decline your offer due to financial and personal reasons.

Thank you very much for your assistance in this matter.

Sincerely yours,

*Hanako Kokusai*  
Hanako Kokusai

## 7. 就 職

Q：留学をして卒業がのびると就職に不利にならないですか？

留学のために大学卒業まで5年かかること（4年間で大学を卒業できないこと）が就職活動の際に不利に働くことはまずありません。また、留学経験が必ずしも有利に働くわけでもありません。留学経験を就職活動にどのように生かすかしっかりと考えることが大切です。(P.57～61も参考にしてください)

※学籍に関するQ&Aは、P.36～37を参照してください。

# XI 留学データ

## (1) 津田塾大学生の国別留学者数

留学開始年度 留学先国	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	アメリカ	28		26	(1)	27		23		
カナダ	12	(1)	6		7		8			
メキシコ					1		2			
コスタリカ	1									
アルゼンチン	1		1							
ブラジル					1					
フィンランド	1				2	(1)				
スウェーデン					1					
デンマーク							1			
英国	19	(2)	16		11	(1)	13	(1)		
アイルランド	1				1		1			
ドイツ					1		2			
オーストリア			1	(1)	5					
フランス	2				2		4			
オランダ					2					
スペイン			2		3					
ロシア	1									
中国	2		5		7		9		2(*)	
台湾	5		2		3		2			
韓国	3		4		5		6		1(*)	
インド					1	(1)				
フィリピン	1		2		4		3			
マレーシア	2				1		2			
タイ					2					
ミャンマー							1			
インドネシア					1					
オーストラリア	12		11				10			
ニュージーランド	3		1				1			
フィジー					1					
パレスチナ	1									
南アフリカ					1		1			
合計人数	95	(3)	77	(2)	90	(3)	89	(1)	3	(0)

※協定校留学と語学留学を含む私費留学をあわせた留学者数（当該年度に留学を開始した人数）

※カッコ内は大学院生（内数）

(\*) オンラインによる協定校留学者

**(2) 津田塾大学生の学科・学年別留学者数**

学 科	学 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年(*)	5 年間計
英 語 英 文 学 科	1 年 生	0	0	0	0	0	0
	2 年 生	0	0	0	0	0	0
	3 年 生	30	18	15	15	0	78
	4 年 生	17	13	15	15	1	61
国 際 関 係 学 科	1 年 生	0	0	0	0	0	0
	2 年 生	1	0	0	0	0	1
	3 年 生	23	23	20	20	0	86
	4 年 生	17	19	34	34	1	105
数 学 科	1 年 生	0	0	0	0	0	0
	2 年 生	0	0	0	0	0	0
	3 年 生	1	0	0	0	0	1
	4 年 生	1	0	0	0	0	1
情 報 科 学 科	1 年 生	0	0	0	0	0	0
	2 年 生	0	0	0	0	0	0
	3 年 生	1	2	1	1	0	5
	4 年 生	1	0	1	1	0	3
総 合 政 策 学 科	1 年 生	—	0	0	1	0	1
	2 年 生	—	—	0	0	0	0
	3 年 生	—	—	—	6	0	6
	4 年 生	—	—	—	—	1	1
合 計 人 数		92	75	86	93	3	349

※ 協定校留学と語学留学を含む私費留学をあわせた留学者数（学部生のみ、当該年度に留学を開始した人数）

(\*) いずれもオンラインによる協定校留学者

### (3) 津田塾生の主な留学先大学の一覧 (2015～2019年度)

#### アメリカ

アーケイディア大学  
 イースタン・ワシントン大学  
 インディアナ大学パデュー大学  
 インディアナポリス<sup>(※1)</sup>  
 ウィチタ州立大学  
 ウェスタン・オレゴン大学  
 ウェスタン・ワシントン大学<sup>(※1)</sup>  
 ヴァルパライゾ大学  
 エヴァンズビル大学  
 オハイオ大学  
 オレゴン州立大学  
 カリフォルニア大学アーバイン校  
 カリフォルニア大学サンディエゴ校  
 カリフォルニア大学デービス校<sup>(※1)</sup>  
 カリフォルニア大学リバーサイド校  
 カリフォルニア州立大学チョコ校  
 カリフォルニア州立大学ノースリッジ校  
 カリフォルニア州立大学フラトン校  
 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校  
 カンザス大学<sup>(※1)</sup>  
 キャンベルズビル大学  
 サウスイースト・ミズーリ州立大学  
 サフォーク大学  
 サラ・ローレンス大学<sup>(※1)</sup>  
 サンディエゴ州立大学  
 サンフランシスコ州立大学  
 ジョージ・ワシントン大学  
 スペルマン大学<sup>(※1)</sup>  
 ソノマ州立大学  
 テイラー大学  
 テネシー工科大学  
 ネブラスカ大学オマハ校  
 ネブラスカ大学カーニー校  
 ニューメキシコ州立大学  
 ハワイ大学ヒロ校  
 ハワイ大学マノア校  
 フィンドレー大学  
 ブリンマー大学<sup>(※1)</sup>  
 ベルビュー大学  
 マサチューセッツ大学ボストン校  
 ミドルテネシー州立大学  
 南オレゴン大学  
 南フロリダ大学  
 ミネソタ州立大学モアヘッド<sup>(※3)</sup>  
 モンタナ大学  
 モンロー大学  
 ランドルフ大学<sup>(※1)</sup>

#### 英国

アペリストウィス大学<sup>(※1)</sup>  
 ウェストミンスター大学  
 エセックス大学  
 エディンバラ大学<sup>(※3)</sup>  
 オックスフォード・ブルックス大学  
 グラスゴー大学  
 グロスターシャー大学

ケント大学  
 サセックス大学  
 シェフィールド大学  
 ニューカッスル大学  
 バンガー大学  
 ブライトン大学  
 ブラッドフォード大学  
 ブリストル大学<sup>(※1)</sup>  
 マンチェスター大学  
 ヨーク大学<sup>(※3)</sup>  
 ランカスター大学  
 リーズ大学<sup>(※2)</sup>  
 ロンドン大学ゴールドスミス校  
 ロンドン大学東洋アフリカ研究学院

#### カナダ

コンコルディア大学<sup>(※1)</sup>  
 トンプソンリバーズ大学  
 ビクトリア大学  
 プリンス・エドワード・アイランド大学<sup>(※1)</sup>  
 マウント・アリソン大学  
 マギル大学<sup>(※1)</sup>

#### アイルランド

ダブリンシティ大学

#### オーストラリア

アデレード大学  
 ウーロンゴン大学  
 オーストラリア国立大学<sup>(※1)</sup>  
 クイーンランド工科大学  
 グリフィス大学  
 スウィンバーン工科大学  
 ディーキン大学  
 ニューキャッスル大学  
 フリンダーズ大学  
 マッコリー大学  
 メルボルン大学  
 ボンド大学  
 南オーストラリア大学  
 モナッシュ大学  
 ラ・トローブ大学

#### ニュージーランド

オークランド大学

#### 韓国

国民大学<sup>(※1)</sup>  
 梨花女子大学<sup>(※1)</sup>

#### 中国

南京大学海外教育学院<sup>(※1)</sup>  
 復旦大学  
 北京外国語大学  
 香港樹仁大学<sup>(※1)</sup>

#### フィリピン

フィリピン大学<sup>(※1)</sup>

#### メキシコ

メトロポリタン自治大学<sup>(※1)</sup>

#### マレーシア

サンウェイ大学  
 アジアパシフィック大学

#### 台湾

国立台湾大学  
 国立屏東大学  
 淡江大学<sup>(※1)</sup>

#### オーストリア

アッパーオーストリア応用科学大学

#### スウェーデン

ブレーキング工科大学<sup>(※1)</sup>

#### スペイン

サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学

#### ドイツ

ザールラント大学  
 ブレーメン応用科学大学<sup>(※1)</sup>  
 ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドフ<sup>(※1)</sup>

#### フィンランド

ヘルシンキ大学  
 ラップランド大学

#### ロシア

極東連邦大学

#### フランス

CYセルジー・パリ大学<sup>(※1)</sup>

#### オランダ

アムステルダム大学  
 HAS 応用科学大学

#### インド

ジャワーハルラール・ネルー大学

#### タイ

チュラーロンコーン大学  
 メーファールアン大学

#### ブラジル

サンパウロ大学

#### 南アフリカ共和国

ケープタウン大学

※1：協定校留学での派遣実績あり。  
 ※2：協定校だが、私費留学での派遣実績あり。  
 ※3：協定校留学および私費留学での派遣実績あり。





津田塾生のための  
留学ハンドブック 2022

発行日  
2022年3月31日

編集・発行  
津田塾大学国際センター  
〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1  
TEL 042-342-5164

印刷  
株式会社文伸

